勉誠出版

訓点語学会　会員様対象
特別割引のご案内

全品20%OFF

割引クーポンコード：5bc92c67e8
（使用期限：～2021年11月30日）

謹啓

秋晴の候、日頃より弊社をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

このたび、会員様対象の特別割引セールを行うことになりました。

当リストの新刊書籍をはじめ、勉誠出版タイトル全品が対象となります。

この機会にぜひともご購入をご検討くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

●ご注文について

・弊社ウェブサイトよりご注文を承ります。

https://bensei.jp

各種クレジットカード、paypal（クレジットカード・デビットカード）でのご決済が可能です。
ぜひご利用くださいませ。

割引クーポンコード：5bc92c67e8（使用期限：～2021年11月30日）

こちらの10ケタの英数字を、必ずご入力ください！
未入力の場合、割引が適用されず、定価でのご請求となります。ご了承ください。

・メール添付、FAX、電話でもお受けしております。
ご氏名・ご住所・電話番号・公費／私費の区別・公費の場合は必要書類・宛名・日付の有無をお知らせください。

・3000円以上のお買い上げで、国内全国送料サービス
（※3000円未満の場合は送料一律300円。なお日本国外への配送に関しては、実費を頂戴します）

＊ウェブサイト以外の方法によるご注文の際は、
訓点語学会の会員であることをお知らせください。

●ご連絡先

Mail　info@bensei.jp
電話　03-5215-9021
FAX　03-5215-9025

より詳細な「研究書 新刊・近刊のご案内」が
右のQRコードからダウンロードいただけます。

最新の出版総合目録は
右のQRコードから
ダウンロードいただけます。

勉誠出版 注文書	ご送付先（氏名・住所・電話番号）
Email info@bensei.jp　FAX 03-5215-9025	
※メール、FAX、郵送にてご注文を承ります。 ※弊社ホームページのホーム画面上部のバナー「研究書 新刊・近刊のご案内」、 もしくはお知らせ欄「研究書 新刊・近刊のご案内」より、注文書（PDFかエクセル）をダウンロードしてご記入のうえ、メールかFAXにて、お送りください。 ※メールやFAXの送り状の本文に直接ご注文内容をご記載いただくかたちでも結構です。	通信欄　※お支払い方法（公費・私費）、必要書類はこちらにご記入ください

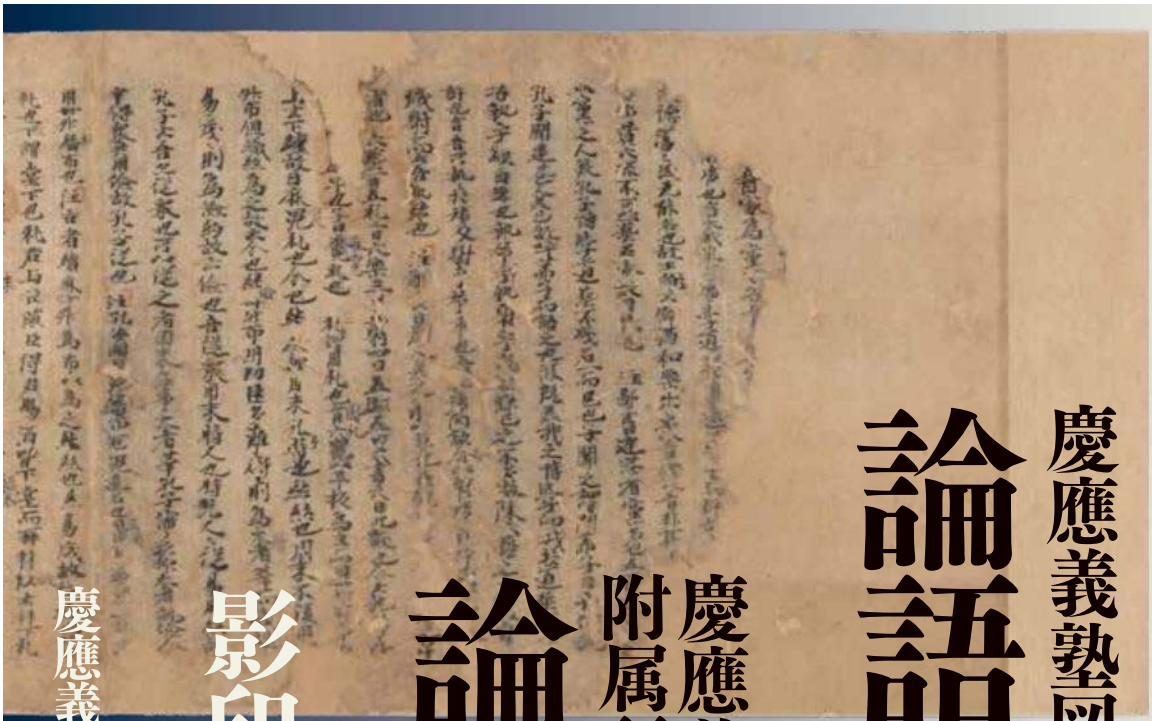
※ISBNは978-4-585と末尾のチェックデジットを省略しています。

	書名	編著者	刊行年月	ISBN	本体価格	税込価格	割引価格	冊数
	◆近刊（ご予約受付中！）							
*	慶應義塾図書館蔵 論語疏巻六　慶應義塾大学附属研究所斯道文庫蔵 論語義疏　影印と解題研究	慶應義塾大学論語疏研究会　編	2021/10	31004	18,000	19,800	15,840	
	室町文化の座標軸―遣明船時代の列島と文事	芳澤元　編	2021/10	32011	9,800	10,780	8,624	
	従軍日記と報道挿絵が伝える庶民たちの日露戦争	西川武　著	2021/10	32008	3,800	4,180	3,344	
	英国初期印刷本研究への誘い―書誌学から文学・社会・歴史研究へ	向井剛　著	2021/10	32012	6,000	6,600	5,280	
	水門―言葉と歴史　№30	水門の会　編	2021/10	32461	3,000	3,300	2,640	
*	近代日本語教科書語彙索引	伊藤孝行　編	2021/10	38002	8,000	8,800	7,040	
	書物に魅せられた奇人たち（仮）―英国愛書家列伝（仮）	髙宮利行　著	2021/10	39005	予価3,800	4,180	3,344	
	人物から知る　妖怪学前史（仮）―明治から昭和まで（仮）	伊藤慎吾・氷厘亭氷泉　編	2021/10	32010	予価2,800	3,080	2,464	
	合戦図　描かれた＜武＞	中根千絵・薄田大輔　編	2021/11	32013	16,000	17,600	14,080	
	中世神道入門	伊藤聡・門屋温　監修／新井大祐・鈴木英之・大東敬明・平沢卓也　編	2021/11	31006	3,800	4,180	3,344	
	玄奘三蔵―新たなる玄奘像をもとめて	佐久間秀範・近本謙介・本井牧子　編	2021/11	31005	12,000	13,200	10,560	
	中国史書入門　現代語訳　北斉書	氣賀澤保規　監修／池田恭哉・岡部毅史・梶山智史・倉本尚徳・田熊敬之　訳	2021/秋	29612	6,000	6,600	5,280	
	坂口安吾大事典（仮）	安藤 宏・十重田裕一・大原祐治　編集代表	2021/秋	20079	15,000	16,500	13,200	
	◆日本語学・言語学							
*	ベトナム語空間ダイクシスとその展開―指示詞から文末詞・感動詞へ	安達真弓　著	2021/5	38001	10,000	11,000	8,800	
*	日本語文字論の挑戦―表記・文字・文献を考えるための17章	加藤重広・岡墻裕剛 編	2021/3	38000	7,000	7,700	6,160	
*	コーパスと近代日本語書き言葉の一人称代名詞の研究	近藤明日子 著	2021/2	28052	8,500	9,350	7,480	
*	日本書紀声点本の研究	鈴木豊　著	2020/3	28048	14,000	15,400	12,320	
*	龍谷大学図書館蔵 黒谷上人語燈録 元亨版 翻刻および総索引	佐々木勇 主編	2020/4	28050	18,000	19,800	15,840	
	近世後期テニヲハ論の展開と活用研究	遠藤佳那子 著	2020/1	28047	8,000	8,800	7,040	
	論究日本近代語 第1集	日本近代語研究会 編	2020/3	28521	15,000	16,500	13,200	
*	サハ語文法―統語的派生と言語類型論的特異性	江畑冬生 著	2020/4	28049	9,800	10,780	8,624	
	続 岐点の軌跡 老いてなお岐点あり―老いてなお岐点あり	北原保雄 著	2020/4	28503	4,500	4,950	3,960	
	◆歴史・文化財・美術史・思想史							
*	書物・印刷・本屋―日中韓をめぐる本の文化史	藤本幸夫　編	2021/6	30002	16,000	17,600	14,080	
*	古文書への招待	日本古文書学会　編	2021/1	22277	3,000	3,300	2,640	
	日本中世社会と村住人	蔵持重裕　編	2021/9	32009	9,500	10,450	8,360	
	古建築調査ハンドブック	山岸常人・岸泰子・登谷伸宏　著	2021/8	35000	1,400	1,540	1,232	
	日本古代の仏教者と山林修行	小林崇仁　著	2021/8	31003	12,000	13,200	10,560	
	中世武家領主の世界―現地と文献・モノから探る	田中大喜　編	2021/8	32003	3,800	4,180	3,344	
	戦国時代劇メディアの見方・つくり方―戦国イメージと時代考証	大石学・時代考証学会　編	2021/9	32006	3,200	3,520	2,816	
	近世の村と百姓	渡辺尚志　著	2021/8	32002	9,800	10,780	8,624	
	杉田玄白と江戸の蘭学塾―「天眞樓」塾とその門流	片桐一男　著	2021/7	32004	7,000	7,700	6,160	
	首里城を解く―文化財継承のための礎を築く	高良倉吉　監修／島村幸一　編	2021/9	32001	3,800	4,180	3,344	
	増補改訂新版　日本中世史入門―論文を書こう	秋山哲雄・田中大喜・野口華世　編	2021/2	22280	3,800	4,180	3,344	
	古文書の様式と国際比較	小島道裕・田中大喜・荒木和憲　編 国立歴史民俗博物館　監修	2020/2	22272	7,800	8,580	6,864	
	日本の表装と修理	岩崎奈緒子・中野慎之・森道彦・横内裕人　編	2020/3	20073	7,000	7,700	6,160	
*	古文書研究　第91号	日本古文書学会　編	2021/6	32401	3,800	4,180	3,344	
	古文書研究　第90号	日本古文書学会　編	2020/12	22417	3,800	4,180	3,344	
	渤海の古城と国際交流	清水信行・鈴木靖民　編	2021/2	22289	14,000	15,400	12,320	
	古代の日本と東アジア　人とモノの交流史	鈴木靖民　著	2020/7	22279	10,000	11,000	8,800	
	新羅中古期の史的研究	武田幸男　著	2020/7	22278	12,000	13,200	10,560	
	大嘗祭―隠された古層	工藤隆・岡部隆志・遠藤耕太郎　編	2021/1	21057	3,800	4,180	3,344	
*	中世寺院の仏法と社会	永村眞　編	2021/5	31001	12,000	13,200	10,560	
	中世の博多とアジア	伊藤幸司　著	2021/2	22300	9,500	10,450	8,360	
	戦国合戦図屏風の歴史学	高橋修　著	2021/2	22301	9,000	9,900	7,920	
	金沢文庫古文書　喫茶関係編年資料集	永井晋　編	2020/9	22288	10,000	11,000	8,800	
	鷹狩の日本史	福田千鶴・武井弘一　編	2021/2	22297	3,800	4,180	3,344	
	中近世移行期の文化と古活字版	高木浩明　著	2020/12	20077	15,000	16,500	13,200	
	歴博甲本洛中洛外図屏風の研究	小谷量子　著	2020/2	22257	10,000	11,000	8,800	
	近世大名墓の考古学―東アジア文化圏における思想と祭祀	松原典明　編	2020/6	22276	12,000	13,200	10,560	
	儒教儀礼と近世日本社会―闇斎学派の『家礼』実践	松川雅信　著	2020/7	21056	10,000	11,000	8,800	
	創られた由緒―近世大和国諸社と在地神道家	向村九音　著	2021/6	31002	8,000	8,800	7,040	
	勤番武士の江戸滞在記―国枝外右馬江戸詰中日記	岩淵令治　編	2021/5	32000	10,000	11,000	8,800	
	生きるための地域史―東海地域の動態から	中村只吾・渡辺尚志　編	2020/10	22290	8,000	8,800	7,040	
	日本近世社会と町役人	望月良親　著	2020/2	22266	6,000	6,600	5,280	
	近世豪商・豪農の〈家〉経営と書物受容―北奥地域の事例研究	鈴木淳世　著	2020/2	22265	10,000	11,000	8,800	
	近世都市の常態と非常態―人為的自然環境と災害	渡辺浩一／マシュー・デーヴィス　編	2020/2	22267	7,000	7,700	6,160	
	江戸日本橋商人の記録―〈にんべん〉伊勢屋高津伊兵衛家の古文書	澤登寛聡・筑後則　編	2020/3	22269	11,000	12,100	9,680	
	甦る「豊後切支丹史料」―バチカン図書館所蔵マレガ氏収集文書より	松井洋子・佐藤孝之・松澤克行　編	2020/2	22261	12,000	13,200	10,560	
	琉球船漂着者の「聞書」世界―『大島筆記』翻刻と研究	島村幸一　編	2020/3	29197	10,000	11,000	8,800	
	新彰義隊戦史	大藏八郎　編	2020/9	22285	7,000	7,700	6,160	
	明治の一発屋芸人たち―珍芸四天王と民衆世界	永嶺重敏　著	2021/1	27058	3,500	3,850	3,080	
	アーネスト・サトウと蔵書の行方―『増補浮世絵類考』の来歴をめぐって	小山騰　著	2020/11	20078	4,200	4,620	3,696	
	土地の記憶から読み解く早稲田―江戸・東京のなかの小宇宙	ローザ・カーロリ　著／大内紀彦、フィリッポ・ドルネッティ　訳	2021/3	22299	2,700	2,970	2,376	
	ロマノフ王朝時代の日露交流	東洋文庫・生田美智子　監修／牧野元紀　編	2020/8	22286	3,800	4,180	3,344	
	スイス使節団が見た幕末の日本―ブレンワルド日記1862-1867	横浜市ふるさと歴史財団・ ブレンワルド日記研究会　編	2020/6	22275	9,800	10,780	8,624	
	日本建築の歴史的評価とその保存	山岸常人　著	2020/2	22268	17,000	18,700	14,960	
	日本画の所在―東アジアの視点から	北澤憲昭・古田亮　編	2020/4	27055	6,500	7,150	5,720	
	パブリック・ヒストリー入門―開かれた歴史学への挑戦 【オンデマンド新版】	菅豊・北條勝貴　編	2021/5	82254	4,800	5,280	4,224	
	新装版　唐物と東アジア―舶載品をめぐる文化交流史	河添房江・皆川雅樹　編	2021/4 二刷 （2016/2 初版）	22140	2,000	2,200	1,760	
	観相の文化史	相田満　著	2021/2	29203	9,000	9,900	7,920	
	改訂新版　中国学入門―中国古典を学ぶための13章【オンデマンド版】	二松學舍大学文学部中国文学科　編	2021/4	80056	1,600	1,760	1,408	
	宋代中国都市の形態と構造	伊原弘　著	2020/6	22069	4,500	4,950	3,960	
	描かれたマカオ―ダーウェント・コレクションにみる東西交流の歴史	貴志俊彦・朱益宜・黄淑薇　編	2020/4	22262	22,000	24,200	19,360	
	上海におけるプロテスタント―現代中国の都市と宗教空間をめぐる変遷	村上志保　著	2020/5	21055	6,000	6,600	5,280	
	ラジオの技術・産業の百年史―大衆メディアの誕生と変遷	岡部匡伸　著	2021/3 二刷 （2020/1 2初版）	22295	5,400	5,940	4,752	
	絶滅危惧種を喰らう	秋道智彌・岩崎望　編	2021/1	24014	3,200	3,520	2,816	
	パリ・ノートル=ダム大聖堂の伝統と再生―歴史・信仰・空間から考える	坂野正則　編	2021/3	31000	8,000	8,800	7,040	
	メソアメリカ文明ゼミナール	伊藤伸幸　監修／嘉幡茂・村上達也　編	2021/1	22296	5,000	5,500	4,400	
	現代ドイツへの視座―歴史学的アプローチ　2 ナチズム・ホロコーストと戦後ドイツ	石田勇治・川喜田敦子　編	2020/9	22513	6,000	6,600	5,280	
	現代ドイツへの視座―歴史学的アプローチ　3 ドイツ市民社会の史的展開	石田勇治・川喜田敦子・平松英人・辻英史　編	2020/9	22514	6,000	6,600	5,280	
	「本読み」の民俗誌　交叉する文字と語り	川島秀一　著	2020/6	23081	3,500	3,850	3,080	
	メディアのなかの仏教　近現代の仏教的人間像	森覚　編	2020/5	21054	7,500	8,250	6,600	
	渋沢敬三とアチック・ミューゼアム―知の共鳴が創り上げた人文学の理想郷	加藤幸治　著	2020/1	22263	3,500	3,850	3,080	
	荒れ野の六十年―東アジア世界の歴史地政学	與那覇潤　著	2020/1	22264	3,200	3,520	2,816	

	書名	編著者	刊行年月	ISBN	本体価格	税込価格	割引価格	冊数
	◆古典文学・文学史							
*	説話の東アジア―『今昔物語集』を中心に	高陽　著	2021/9	39004	12,000	13,200	10,560	
*	怪異学講義―王権・信仰・いとなみ	東アジア怪異学会　編	2021/9	32007	3,200	3,520	2,816	
*	もう一度読みたい日本の古典文学	三宅晶子　編	2021/7	39001	2,400	2,640	2,112	
	谷崎潤一郎　美と生命の間	柴田勝二　著	2021/7	39003	3,600	3,960	3,168	
	物語文学の諸相と展開	中野幸一　著	2021/3	39000	12,000	13,200	10,560	
	中世和歌論―歌学と表現と歌人	中川博夫　著	2020/11	29199	12,000	13,200	10,560	
	和漢朗詠集とその享受　増訂版	三木雅博　著	2021/1	29202	15,000	16,500	13,200	
	真田幸弘点取百韻　翻刻と解題	玉城司・小幡伍　編著	2021/2	29204	9,000	9,900	7,920	
	中国古典文学に描かれた厠・井戸・簀―民俗学的視点に基づく考察	山崎藍　著	2020/11	29200	9,000	9,900	7,920	
	韓国・朝鮮説話学の形成と展開	金廣植　著	2021/2	29201	11,000	12,100	9,680	
	挑発する軍記	大津雄一　著	2020/10	22292	3,800	4,180	3,344	
	江戸庶民のまじない集覧―創意工夫による生き方の智恵	長友千代治　著	2020/10	20076	6,000	6,600	5,280	
	医学・科学・博物　東アジア古典籍の世界	陳捷　編	2020/2	20072	12,000	13,200	10,560	
	水門―言葉と歴史　第二十九号	水門の会　編	2020/1	22443	3,500	3,850	3,080	
	本朝文粋抄　六	後藤昭雄　著	2020/2	29224	3,200	3,520	2,816	
	仙洞句題五十首・水無瀬殿恋十五首歌合　全注釈	石川一　編	2020/3	29195	10,000	11,000	8,800	
	南方熊楠と日本文学	伊藤慎吾　著	2020/3	22270	7,000	7,700	6,160	
	幕末明治の社会変容と詩歌	青山英正　著	2020/2	29196	10,000	11,000	8,800	
	明治の教養―変容する〈和〉〈漢〉〈洋〉	鈴木健一　編	2020/1	29193	7,500	8,250	6,600	
	杜甫研究年報　第三号	日本杜甫学会　編	2020/5	29443	2,000	2,200	1,760	
	杜甫研究年報　第四号	日本杜甫学会　編	2021/4	39444	2,000	2,200	1,760	
	お伽草子超入門	伊藤慎吾　編	2020/7	29188	2,800	3,080	2,464	
	白居易研究年報　最終号・第20号　特集　歌舞音曲―附　日本国内白居易研究文献解題目録	白居易研究会　編	2020/9	07098	9,000	9,900	7,920	
	吉田松陰と学人たち	徳田武　著	2020/9	22291	10,000	11,000	8,800	
	漱石文体見本帳	北川扶生子　著	2020/12	9189	2,800	3,080	2,464	
	ビジュアル資料でたどる 文豪たちの東京	日本近代文学館　編	2020/4	29163	2,800	3,080	2,464	
	【鉄幹晶子全集40】鉄幹晶子全集　別巻8―拾遺篇　書誌・年譜	逸見久美ほか　編	2021/5	01093	9,000	9,900	7,920	
	同性愛文学の系譜―日本近現代文学におけるLGBT以前／以後	伊藤氏貴　著	2020/2	29191	2,800	3,080	2,464	
	平川祐弘決定版著作集『神曲』講義	平川祐弘　著	2020/2	29422	10,000	11,000	8,800	
	平川祐弘決定版著作集 西洋人の神道観―日本人のアイデンティティーを求めて	平川祐弘　著	2020/3	29416	8,000	8,800	7,040	
	平川祐弘決定版著作集 東の自生観と西の創造観	平川祐弘　著	2020/3	29428	4,000	4,400	3,520	
	平川祐弘決定版著作集 開国の作法	平川祐弘　著	2020/4	29429	4,000	4,400	3,520	
	平川祐弘決定版著作集　アーサー・ウェイリー『源氏物語』の翻訳者	平川祐弘　著	2020/7	29424	14,000	15,400	12,320	
	アメリカ現代詩入門―エズラ・パウンドからボブ・ディランまで	原成吉　著	2020/2	29192	3,500	3,850	3,080	
	100人の作家で知る ラテンアメリカ文学ガイドブック	寺尾隆吉　著	2020/3	29194	2,800	3,080	2,464	
	◆事典・総記							
	江戸川乱歩大事典	落合教幸・阪本博志・藤井淑禎・渡辺憲司　編	2021/3	20080	12,000	13,200	10,560	
*	文化情報学事典	村上征勝 監修／金明哲・小木曽智信・中園聡・矢野桂司・赤間亮・阪田真己子・宝珍輝尚・芳沢光雄・渡辺美智子・足立浩平 編	2019/12	20071	18,000	19,800	15,840	
	◆図書館学・アーカイブ							
	大宅壮一文庫解体新書―雑誌図書館の全貌とその研究活用	阪本博志　編	2021/5	30001	3,500	3,850	3,080	
	日本の図書館建築―建築からプロジェクトへ	五十嵐太郎・李明喜 編	2021/3	20074	3,500	3,850	3,080	
	ささえあう図書館―「社会装置」としての新たなモデルと役割【オンデマンド版】	青柳英治　編著／岡本真　監修	2021/3	90039	1,800	1,980	1,584	
	【デジタルアーカイブ・ベーシックス3】自然史・理工系研究データの活用	井上透 監修／中村覚 責任編集	2020/4	20283	2,500	2,750	2,200	
	【デジタルアーカイブ・ベーシックス4】アートシーンを支える	高野明彦 監修／嘉村哲郎 責任編集	2020/12	20284	2,500	2,750	2,200	
	【デジタルアーカイブ・ベーシックス5】新しい産業創造へ	時実象一　監修／久永一郎　責任編集	2021/5	20285	2,500	2,750	2,200	
	【ライブラリーぶっくす】司書のお仕事2　本との出会いを届けます	大橋崇行 著／小曽川真貴 監修	2020/10	20075	1,800	1,980	1,584	
	【ライブラリーぶっくす】変化する社会とともに歩む学校図書館	野口武悟　著	2021/4	20081	2,200	2,420	1,936	
	◆統計学							
	この本を書いたのは誰だ？―統計で探る“文章の指紋”	村上征勝 著	2020/4	29198	1,800	1,980	1,584	
	R・Pythonによる 統計データ科学	杉山高一・藤越康祝 監修	2020/2	24011	2,700	2,970	2,376	
	◆アジア遊学							
	242　中国学術の東アジア伝播と古代日本	榎本淳一・吉永匡史・河内春人　編	2020/1	22708	2,800	3,080	2,464	
	243　中央アジアの歴史と現在―草原の叡智	松原正毅　編	2020/3	22709	2,400	2,640	2,112	
	244　前近代東アジアにおける〈術数文化〉	水口幹記　編	2020/3	22710	3,200	3,520	2,816	
	245　アジアの死と鎮魂・追善	原田正俊　編	2020/3	22711	2,800	3,080	2,464	
	246　和漢のコードと自然表象―十六、七世紀の日本を中心に	島尾新・宇野瑞木・亀田和子　編	2020/4	22712	2,800	3,080	2,464	
	247　移動するメディアとプロパガンダ ―日中戦争期から戦後にかけての大衆芸術	西村正男・星野幸代　編	2020/4	22713	2,800	3,080	2,464	
	248　明治が歴史になったとき　史学史としての大久保利謙	佐藤雄基　編	2020/6	22714	2,800	3,080	2,464	
	249　漢学とは何か　漢唐および清中後期の学術世界	川原秀城　編	2020/7	22715	2,800	3,080	2,464	
	250　酔いの文化史　儀礼から病まで	伊藤信博　編	2020/8	22716	2,800	3,080	2,464	
	251　仏教の東漸と西漸	荒見泰史　編	2020/9	22717	2,800	3,080	2,464	
	252　中世日本の茶と文化　生産・流通・消費をとおして	永井晋　編	2020/9	22718	2,800	3,080	2,464	
	253　ポストコロナ時代の東アジア　新しい世界の国家・宗教・日常	玄武岩・藤野陽平　編	2020/9	22719	2,800	3,080	2,464	
*	254　東アジアの歌と文字	真下厚・遠藤耕太郎・波照間永吉　編	2021/2	32500	2,800	3,080	2,464	
	255　東アジアにおける知の往還	国文学研究資料館・高麗大学校グローバル日本研究院　共編	2021/3	32501	2,800	3,080	2,464	
*	256　元朝の歴史―モンゴル帝国期の東ユーラシア	櫻井智美・飯山知保・森田憲司・渡辺健哉　編	2021/6	32502	3,200	3,520	2,816	
*	257　交錯する宗教と民族―交流と衝突の比較史	鹿毛敏夫　編	2021/7	32503	2,800	3,080	2,464	
*	258　史料が語る東インド航路―移動がうみだす接触領域	水井万里子・大澤広晃・杉浦未樹・吉田信・伏見岳志　編	2021/7	32504	2,800	3,080	2,464	
*	259　書物のなかの近世国家―東アジア「一統志」の時代	小二田章・高井康典行・吉野正史　編	2021/8	32505	3,000	3,300	2,640	
*	260　アヘンからよむアジア史	内田知行・権寧俊　編	2021/9	32506	2,800	3,080	2,464	
*	261　古典は遺産か？―日本文学におけるテクスト遺産の利用と再創造	Edoardo GERLINI・河野貴美子　編	2021/10	32507	2,800	3,080	2,464	
*	262　資料論がひらく軍記・合戦図の世界―理文融合型資料論と史学・文学の交差	井上泰至　編	2021/10	32508	3,200	3,520	2,816	
	◆書物学							
	第18巻　蔵書はめぐる　海外図書館の日本古典籍コレクション	編集部　編	2020/7	20718	1,800	1,980	1,584	

* 詳細はチラシ・パンフレットをご覧ください。

幕末以降所在不明であった
最古級の『論語』注釈写本が再発見された——
慶應義塾大学図書館蔵『論語疏』巻六である。

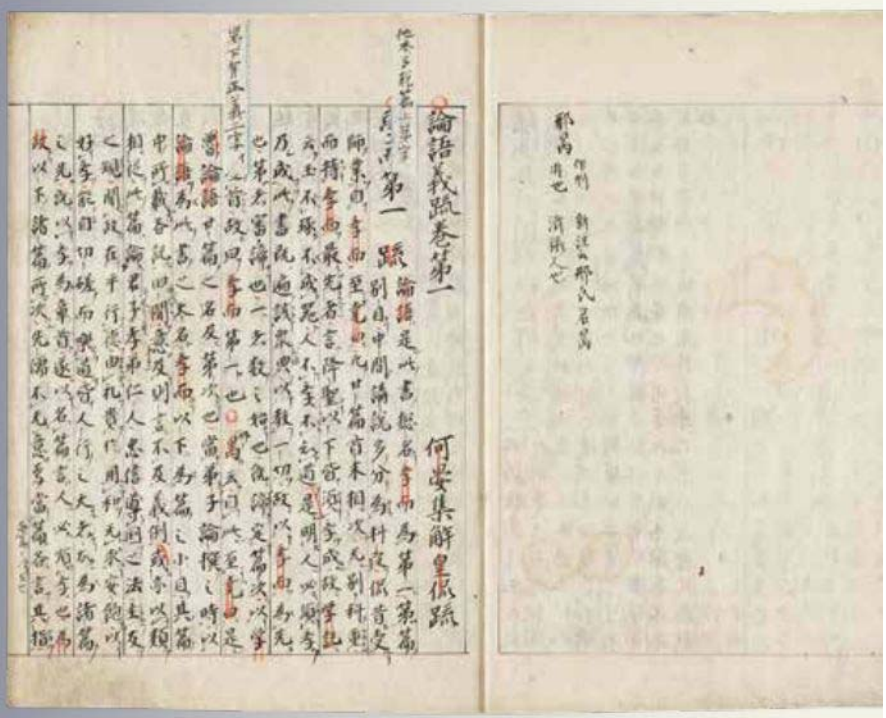


慶應義塾図書館蔵
論語疏（ろんごそ）巻六

慶應義塾大学
附属研究所斯道文庫蔵
論語義疏（ろんごぎそ）

影印と解題研究

慶應義塾大学論語疏研究会〈編〉



国宝級の
最古写本の全編を
原寸原色にて
提供する決定版！

本体一八、〇〇〇円（＋税）
A4判・上製函入・四七二頁
二〇二一年一〇月刊行
ISBN978-4-585-31004-4 C3010

勉誠出版

〈注文書〉

慶應義塾図書館蔵 論語疏 巻六

慶應義塾大学論語疏研究会〈編〉

慶應義塾大学附属研究所斯道文庫蔵 論語義疏 影印と解題研究

本体18,000円（+税）
A4判・上製函入
472頁（カラー336頁）
2021年10月刊行
ISBN978-4-585-31004-4 C3010

ご送付先ご住所（通信欄）

ご注文部数

貴店番線印

勉誠出版
〒101-0061 千代田区神田三崎町2-18-4
TEL.03-5215-9021 FAX.03-5215-9025
Website=http://bensei.jp
Email=info@bensei.jp

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店、あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。

慶應義塾図書館蔵 論語疏 巻六

『論語』子罕篇と郷党篇（通行本巻五）の、ほぼ全文を伝える中国写本。字体、字様などの書写相や、装訂、紙質など書籍形態の比較検討から、原著成立から一〇〇年を経ない時期の写本と目され、最古級の伝本と位置付けられる。また、平安時代の日本の印記がありそれ以前に伝来した点にも価値がある。古代以来、朝廷周辺で秘蔵された文献である様相も有する、日本漢学の淵源となった書籍として歴史的意義も備わる。

慶應義塾大学附属研究所斯道文庫蔵 論語義疏

文明十九年書写。『論語』の室町期写本群の中でも、最も整った姿を備える伝本。室町期特有の略字体を有し、全編を通じて統一した訓点を施した特徴をもつ。また、慶應義塾図書館蔵『論語疏』巻六との対校によって、その本文の価値が確かめられることから、『論語』二十篇を完存する『義疏』室町写本群研究に大きく寄与する。

国宝級の最古写本の全編を原寸原色にて提供する決定版！

東アジア漢字文化圏の古典として広く諸国・諸地域の文化・思想に大きく影響を与えた『論語』。二〇一七年、幕末以降所蔵不明であった最古級の『論語』の注釈書である『論語疏』が日本国内において再発見され、二〇二〇年には展示公開、広く報道がなされた。

慶應義塾大学図書館蔵『論語疏』巻六である。

同書は南北朝から隋時代（六～七世紀初頭）における中国写本であり、『論語』およびその注釈として、さらには同時代の写本として類を見ない逸品である。本書では、同『論語疏』の全編をフルカラー原寸大で影印、初公開する。

さらには、室町期の写本群のなかでも、最も整った完本である、慶應義塾大学附属研究所斯道文庫蔵『論語義疏』（文明十九年書写大槻本）の全編もフルカラーで影印。斯界の第一線をリードする研究者による詳細な解題・翻刻・校勘記を備えた決定版。

【目次】

前言…佐藤道生

◎影印

慶應義塾図書館蔵　〔南北朝末隋〕写本『論語疏』巻六

慶應義塾大学附属研究所　斯道文庫蔵　文明十九年写本『論語義疏』

◎解題研究

慶應義塾図書館蔵　〔南北朝末隋〕写本『論語疏』巻六　解題…住吉朋彦

附　橋本経亮編『遠年紙譜』所収「皇侃義疏料紙」について…一戸渉

慶應義塾圖書館藏　〔南北朝末隋〕寫本『論語疏』巻六　飜印並に校記…種村和史

附　慶應義塾大學圖書館藏　『論語疏』巻六校記舉例　義疏の部…種村和史

慶應義塾図書館蔵　〔南北朝末隋〕写本『論語疏』巻六　清家文庫本校記…齋藤慎一郎

附　慶應義塾図書館蔵　『論語疏』巻六の文献価値
——日本漢学研究資料としての特色…齋藤慎一郎

附　慶應義塾大学附属研究所　斯道文庫蔵　文明十九年写本『論語義疏』　解題…住吉朋彦

附　慶應義塾大学附属研究所　斯道文庫蔵　旧鈔『論語義疏』伝本解題…住吉朋彦

書物・印刷・本屋

日中韓をめぐる本の文化史

図版点数390超

藤本幸夫〈編〉

（ふじもと・ゆきお）富山大学名誉教授、麗澤大学客員教授。専門は朝鮮語学・朝鮮文献学。二〇二一年学士院賞・恩賜賞を受賞。著書に『日本現存朝鮮本研究　集部』（京都大学学術出版会、二〇〇六年）、『日韓漢文訓読研究』（編著、勉誠出版、二〇一四年）、『龍龕手鏡〈鑑〉研究』（編著、麗澤大学出版会、二〇一五年）、『日本現存朝鮮本研究　史部』（韓国東国大学出版部、二〇一八年）などがある。

中国、朝鮮半島、日本に伝播した書物文化は、各国各地に於いて民間の商業出版――坊刻本――の深淵かつ絢爛な世界を形づくっていった。

書籍の出版から販売・読書にいたる具体的な諸相、即ち潤筆料・版下・刻版・彫師・摺師・版木・料紙・装幀・本屋・貸本屋・書価・出版部数・流通・読者・版株・印刷術・禁書・和刻・出版統制等々を中心に、書物史研究を牽引する珠玉の執筆者35名による知見を集結、390点を超える図版資料を収載した

日中韓の知の世界を彩る
書物文化を知るためのエンサイクロペディア。

〈本書の特色〉

- ●書物のジャンル、形態、印刷技術、本屋や商業出版の諸相など、日中韓の書物文化史を詳細に記述したレファレンスツールとして最適の百科事典的書籍。
- ●書誌学・出版史・印刷史など、書物研究の第一線を走るオールスターが集結した画期的な一冊。
- ●学士院賞、ゲスナー賞、日本出版学会賞、角川源義賞、岩瀬弥助記念書物文化賞等、様々な受賞歴を有する執筆陣が寄稿。
- ●390点を超える貴重な図版資料を収載。

定価一七、六〇〇円（税込）
（本体一六、〇〇〇円）
B5判上製カバー装・八九六頁
二〇二一年六月刊行
ISBN978-4-585-30002-1 C3000

●第一部――書物のかたち・書物のジャンル
●第二部――印刷・活字・技術
●第三部――本屋・商業出版・蔵書

執筆者一覧――

●第一部…佐々木孝浩・柏崎順子・木村八重子・棚橋正博・佐藤至子・鈴木圭一・石上阿希・大久保純一・湯浅淑子・鈴木俊幸・万波寿子・鈴木達彦
●第二部…住吉朋彦・堀川貴司・長澤孝三・豊島正之・林進・高木浩明・森上修・小秋元段・渡辺守邦・橋口侯之介・永井一彰
●第三部…鈴木俊幸・塩村耕・長友千代治・岡村敬二・大沼晴暉・大木康・大塚秀高・金文京・上原究一・高橋智・藤本幸夫・李胤錫・全相昱

…詳細目次は裏面をご覧ください。

書　名		部数
書物・印刷・本屋 日中韓をめぐる本の文化史	藤本幸夫［編］	部

定価17,600円・本体16,000円
B5判上製カバー装・896頁
2021年6月刊行
ISBN978-4-585-30002 C3000

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版　※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

書物・印刷・本屋
日中韓をめぐる本の文化史

藤本幸夫［編］

定価 一七、六〇〇円・本体一六、〇〇〇円
B5判上製カバー装・八九六頁
二〇二一年六月刊行・ISBN978-4-585-30002-1 C3000

〈詳細目次〉

序文……藤本幸夫

◉第一部——書物のかたち・書物のジャンル

佐々木孝浩……〈古写本〉……日本の写本——装訂を中心として
柏崎順子……〈江戸版〉……初期出版界の様相
木村八重子……〈草双紙〉……「草双紙」の史的展望
棚橋正博……〈黄表紙〉……黄表紙
佐藤至子……〈合巻〉……合巻における自主規制——『三国太郎再来伝』から『現世扶桑太郎』へ
鈴木圭一……〈中本（人情本）〉……中本一編三冊意識
石上阿希……〈春画・艶本〉……「書籍目録」にみる枕絵と好色本
大久保純一……〈錦絵〉……錦絵とは
湯浅淑子……〈おもちゃ絵〉……江戸のおもちゃ絵
鈴木俊幸……〈草紙類〉……上方の草紙類をめぐって
万波寿子……〈仏書〉……日本の仏書
鈴木達彦……〈医書〉……日本漢方の特質と日本医書

◉第二部——印刷・活字・技術

住吉朋彦……〈宋版・元版〉……宋元版研究の道程
堀川貴司……〈五山版〉……五山版をどう考えるか
長澤孝三……〈和刻本〉……「和刻本」について
豊島正之……〈キリシタン版〉……キリシタン文献
林進……〈古活字版〉……角倉素庵はなぜ出版事業を興したのか——近世初頭、草創期の古活字版
高木浩明……〈古活字版〉……古活字版から整版へ、整版から古活字版へ
森上修……〈古活字版〉……古活字版印刷と木活字駒の彫出技法
小秋元段……〈出版史料としての反古〉……東北大学附属図書館漱石文庫所蔵古活字版『太平記鈔・音義』表紙の復原的考察
渡辺守邦……〈出版史料としての反古〉……表紙裏反古再考
橋口侯之介……〈彫りと摺り〉……彫師・摺師から見た日本の出版形態
永井一彰……〈版木〉……板木の節

◉第三部——本屋・商業出版・蔵書

鈴木俊幸……〈日本近世の本屋〉……本屋と出版——江戸時代における書籍文化の特質
塩村耕……〈日本近世前期の商業出版〉……近世前期の出版界と西鶴
長友千代治……〈貸本屋〉……貸本屋の横顔
岡村敬二……〈蔵書・蒐書（日本）〉……蔵書家の索引、蔵版、蔵書の行方
大沼晴暉……〈蔵書・蒐書（日本）〉……田中さんのおもちゃ箱——小平市立図書館蔵本
大沼晴暉……〈日中韓の商業出版〉……日中韓坊刻本の比較研究或いは此等三か国書物の比較研究のために
大木康……〈中国の商業出版〉……中国書肆史考——近世を中心に
大塚秀高……〈中国の商業出版〉……坊刻本と物語——口頭の物語の出版について
金文京……〈中国の商業出版〉……明代建陽の商業出版と通俗小説
上原究一……〈中国の商業出版〉……明末清初の坊刻における江西の位置付けについて
髙橋智……〈蔵書・蒐書（中国）〉……中国の蔵書家について
藤本幸夫……〈朝鮮の商業出版〉……朝鮮坊刻本攷
李胤錫……〈朝鮮の商業出版〉……朝鮮朝出版における坊刻本の性格と位置
全相昱……〈朝鮮の商業出版〉……坊刻本「春香伝」の発生とその変貌について

あとがき……藤本幸夫
執筆者一覧

日本中世史・仏教史

中世寺院の仏法と社会

永村 眞【編】

中世日本において寺院は、宗教的な施設のみならず、
貴顕や武士等、様々な人々が行き交う、
政治・経済・文化形成にも大きな影響を有した場であった。
しかし、諸寺院内部で伝持されてきた史料群は、
その特質からアクセスが容易ではなく、
編者らによる寺院史料の調査・研究の方法論の構築により、
近年、大きな研究の進展を見せるようになった。
畿内近国、関東に所在する諸寺院に伝来する
史料群の博捜により、寺内・寺外の僧俗の
社会的かつ宗教的な関わりのなかで、
「日本仏教」を形づくる多彩な仏法とその発展を実現した
寺院社会の構造と思想的背景を立体的に描き出し、
中世寺院の歴史的特質と展開を明らかにする貴重な成果。

中世日本を読み解くための必読の書

【編者紹介】

永村 眞（ながむら・まこと）
一九四八年生まれ。日本女子大学名誉教授、人間文化研究機構理事、東大寺学術顧問。専門は日本中世史・中世仏教史。
著書に『中世東大寺の組織と経営』（塙諸房、一九八九年）、『中世寺院史料論』（吉川弘文館、二〇〇〇年）、『中世醍醐寺の仏法と院家』（吉川弘文館、二〇二〇年）などがある。

定価 二二、〇〇〇円（税込）
（本体二〇、〇〇〇円）
A5判上製カバー装・六四〇頁
二〇二一年六月刊行
ISBN978-4-585-31001-3 C3015

【目次】

はしがき…永村 眞

I 醍醐寺の法流と修学
中世醍醐寺の顕・密「聖教」と法儀…永村 眞
南北朝内乱と清浄光院房玄…石田浩子
南北朝期から室町前期における理性院流と太元帥法別当職の相承
——理性院宗助と大覚寺證菩提院光覚の対立——…佐藤亜莉華
醍醐寺三宝院門跡満済の教学活動…姜 錫正
醍醐寺・根来寺と田舎本寺との寺僧交流
——尾張国万徳寺を通して——…藤井雅子
「義演准后日記」とその紙背文書…関口真規子
修法と秘号——五大虚空蔵法を通して——…井上清子
醍醐寺所蔵「野月」と松橋流秘点…高橋恵美子

II 寺院の法会と社会
中世南都の法華会…高山有紀
「春日権現験記絵」の編纂者…坪内綾子
中世東寺の修学活動——西院と観智院——…西 弥生
十五世紀における北野社領西京と西京神人…三枝暁子
春日社神供備進と興福寺学侶…高山京子
室町将軍家の比丘尼御所と根本所領…小谷量子

III 中世の仏法と寺院
摂関期・院政期における聖徳太子信仰と女性
——四天王寺に集った女性たち——…榊原史子
鎌倉前期寺院社会の禅宗理解…矢野立子
中世「律院」と「結界」…飯田晶子
中世鑁阿寺の寺内組織…中田 愛
雑賀衆の戦いと鈴木孫一…三浦早織
あとがき…藤井雅子

書名	部数
中世寺院の仏法と社会 永村 眞【編】 定価13,200円（税込）・本体12,000円 A5判・上製カバー装・640頁 2021年6月刊行 ISBN978-4-585-31001-3 C3015	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

日本語学

日本語文字論の挑戦

表記・文字・文献を考えるための17章

ひらがな・カタカナ・漢字・ローマ字等、
世界的にも珍しい多文字種環境を有する日本語。
古来、日本人にとって「文字」は、
意思疎通のための情報ツールであると同時に、
彼我の文化に架橋するための媒体であった。
古代から現代までを視野に
「書く」「読む」「学ぶ」「残す」という文字の諸機能に着目し、
日本語における「文字論」の豊穣な世界を示す初めての一冊。

加藤重広・岡墻裕剛〈編〉

かとう・しげひろ◉一九六四年生まれ。北海道大学文学研究院教授(言語科学研究室)。専門は日本語学・言語学。著書に『日本語統語特性論』(北海道大学出版会、二〇一三年)、『言語学講義』(筑摩書房、二〇一九年)などがある。

おかがき・ひろたか◉一九八〇年生まれ。神戸女子大学文学部日本語日本文学科准教授。専門は日本語学(表記・漢字)。著書に『B・H・チェンバレン『文字のしるべ』影印・研究』(編著、勉誠出版、二〇〇八年)などがある。

定価**七、七〇〇**円(税込)
[本体七〇〇〇円]

A5判並製カバー装・四三二頁
二〇二一年三月刊行
ISBN978-4-585-38000-9 C3081

もくじ

まえがき [岡墻裕剛]

第1部…**言葉をどう書くか**
日本語の表記システムとその特徴
——日本語の言語学的文字論として [加藤重広]
近・現代小説の片仮名の用法一斑
——村上春樹『海辺のカフカ』を中心に [金水敏]
古代中国語における漢字の表語現象の諸相 [松江崇]
平安時代の真仮名 [乾善彦]

第2部…**文献をどう読むか**
訓点研究「超」入門 [小助川貞次]
篆隷万象名義における漢文節の意味注記について [李媛]
図書寮本『類聚名義抄』における掲出語と注文の対応について [申雄哲]
辞書と文献の比較に基づく定訓論の再検討
——キリシタン版『落葉集』と『ぎやどぺかどる』を中心として [白井純]
明治期における基本漢字文献の諸相 [岡墻裕剛]

第3部…**文字をどう学ぶか**
『文選』の学習——訓点資料を通して見えてきたこと [渡辺さゆり]
学びの系譜とその豊饒——江戸寺子屋教科書往来物資料を中心に [萩原義雄]
変体仮名を学ぶ小学生 [岡田一祐]
米国陸海軍日本語学校の漢字教材"kanji book" [高田智和]

第4部…**文化をどう残すか**
京都の「天橋立」を表す日本製漢字の展開と背景
——「𨒪」「𪓐」を中心に [笹原宏之]
「蝦夷記」のアイヌ語申渡文における仮名の用法 [佐藤知己]
JIS仮名とUnicode仮名をめぐるいくつかの問題 [當山日出夫]
漢字字体研究と日本古辞書データベースの構築 [池田証壽]

あとがき [加藤重広]・執筆者一覧

書名	部数
日本語文字論の挑戦 表記・文字・文献を考えるための17章 加藤重広・岡墻裕剛〈編〉 定価**7,700**円(税込)・本体7,000円 A5判並製カバー装・432頁 2021年4月刊行 ISBN978-4-585-38000-9 C3081	部

ご送付先ご住所(通信欄)

勉誠出版 ※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

龍谷大学図書館蔵
黒谷上人語燈録
元亨版　翻刻および総索引

くろだにしょうにんごとうろく
げんこうばん

佐々木勇【主編】

宗祖法然上人の法語・消息をまとめて伝える
浄土宗・浄土真宗における貴重文献
『黒谷上人語燈録』。
完本として最古かつ唯一の伝本である
龍谷大学図書館蔵元亨元年（一三二一）刊本の全編を、
同時代に付された訓点・振り仮名を含め、詳細に翻刻。
さらに語彙索引・漢字索引を具備し、
仏教学のみならず、古代における
日常語・口頭語研究、言語位相論的研究、
漢文訓読史研究等、諸分野の研究に裨益する決定版。

［主編者プロフィール］

佐々木勇（ささき・いさむ）

広島大学大学院・教授。
『平安鎌倉時代における日本漢音の研究』（汲古書院、二〇〇九年）、『『徒然草』第九十二段の「得失」――文献学による古典本文確定の例として――」（『國語國文』87（3）、臨川書店、二〇一八年三月）などがある。

［目次］

カラー口絵
緒　言……**佐々木勇**
【本文篇】
凡　例
本文翻刻
【索引篇】
語彙総索引
あ行／か行／さ行／
た行／な行／は行／ま行／や行／ら行／わ行
漢字索引
【研究篇】
日本語史資料としての
龍谷大学図書館蔵『黒谷上人語燈録』……**佐々木勇**
龍谷大学図書館蔵『黒谷上人語燈録』の
オ段拗長音表記……**坂水貴司**
龍谷大学図書館蔵『黒谷上人語燈録』の
仮名文字遣い……**土肥新一郎**
後　記……**佐々木勇**

法然上人絵傳　東京国立博物館蔵
（出典＝国立博物館所蔵品統合検索システム（https://colbase.nich.go.jp/collection_items/tnm/A-1599?locale=ja）

本体一八、〇〇〇円（＋税）
B5判上製カバー装・六四二頁
二〇二〇年四月刊行
ISBN978-4-585-28050-7　C3081

書　名	部　数
龍谷大学図書館蔵 **黒谷上人語燈録** 元亨版　翻刻および総索引 **佐々木勇【主編】** 本体18,000円（＋税） B5判上製カバー装・642頁 2020年4月刊行 ISBN978-4-585-28050-7 C3081	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

日本書紀声点本の研究

鈴木　豊【著】

『日本書紀』古写本が伝えてきたものは何か——

七二〇年(養老四)に正史として撰進された『日本書紀』は、天皇・文人貴族らによる講書、そしてその読み方を書き入れた写本などの形で伝えられ、古辞書・注釈書類にもその成果が取り込まれるなど、これらの学問の痕跡は古代の和訓・アクセントを今に伝える貴重な資料群である。『日本書紀』古写本および関連資料に残された和訓・声点を網羅的に調査・検討、さらにそれらが付され伝えられていったその過程を明らかにすることにより、古代日本語の学問体系やアクセント史における新知見を提示する。

【目次】

はしがき／凡　例
序　論
第Ⅰ部　**『日本書紀』声点本の資料価値に関する研究**
第1章　『日本書紀』神代巻の声点
第2章　乾元本紀所引『日本紀私記』の声点について
第3章　乾元本『日本書紀』万葉仮名訓の声点
第4章　岩崎本『日本書紀』の声点
第5章　訓読漢字の声点のアクセント表示法
第6章　『日本書紀』被訓注字の声点
第7章　『古語拾遺』の声点
第8章　『日本書紀』声点本の濁音表示
第9章　『古語拾遺』声点本の濁音表示
第10章　『日本書紀』α群の万葉仮名
——原音声調と日本語アクセントとの対応——
第Ⅱ部　**『日本書紀』声点本の成立過程に関する研究**
第1章　『弘仁私記』序の「以丹点朋軽重」
第2章　乾元本紀所引『日本紀私記』の万葉仮名
第3章　『日本書紀』古写本中の万葉仮名表記の和訓
(付)『日本書紀』古写本中の万葉仮名訓語彙索引
第4章　『和名抄』所引『公望私記』の万葉仮名訓
第5章　延喜『公望私記』の構造
第6章　日本紀講書とアクセント
第Ⅲ部　**平安時代京都アクセントに関する研究**
第1章　和語声点資料の差声方式
第2章　助詞「の」のアクセント
第3章　アクセント史研究における拍内下降
第4章　平声軽点の消滅過程
第5章　アクセント体系大変化の要因
第6章　『金光明最勝王経音義』所載「以呂波」のアクセント
第7章　いろは歌の作者について——いろは48字説の検討——
結　論
参考文献／あとがき／初出一覧

【著者プロフィール】
鈴木　豊（すずき・ゆたか）
文京学院大学外国語学部教授。専門は日本語学。
著書・論文に『日本語アクセント史総合資料 索引篇』・『同 研究篇』（秋永一枝・上野和昭・坂本清恵・佐藤栄作氏と共編、東京堂出版、一九九七・一九九八年）、『日本書紀神皇巻諸本声点付語彙索引』（アクセント史資料研究会、二〇〇三年）、「連濁研究史——ライマンの法則を中心に——」（ティモシー・J・バンス、金子恵美子、渡邊靖史編『連濁の研究：国立国語研究所プロジェクト論文選集』開拓社、二〇一七年）などがある。

本体一四、〇〇〇円（+税）
B5判上製カバー装・四六四頁
二〇二〇年四月刊行
ISBN978-4-585-28048-4 C3081

書　名	部数
日本書紀 声点本の研究 **鈴木豊**［著］ 本体14,000円(+税) B5判上製・カバー装　464頁 2020年4月刊行 ISBN978-4-585-28048-4 C3081	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

国宝 漢書楊雄伝 第五十七

かんじょ ようゆうでん

京都国立博物館［原本所蔵・編］
石塚晴通 北海道大学名誉教授 東洋文庫研究員
上杉智英 京都国立博物館 美術室研究員 ［解説］
小助川貞次 富山大学教授

現存最古、唯一の唐代写本を原寸原色復元。
筆跡・紙質・多色詳密な訓点を再現。

目次

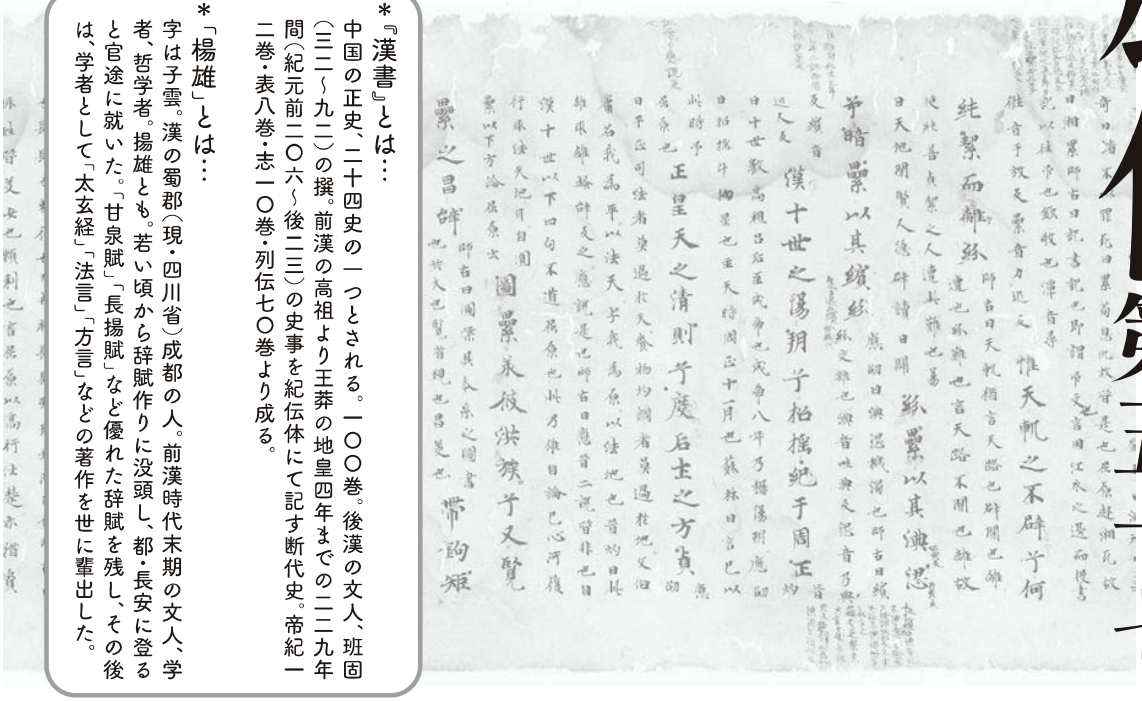
序文
影印
解題
　書誌解題…上杉智英
　本文・訓点解題…石塚晴通・小助川貞次

本書の特長

◉漢書楊雄伝の現存最古、唯一の唐代写本（京都国立博物館所蔵）の全編を原寸・原色にて影印。

◉高精細デジタル撮影により訓点・筆勢・筆致・紙質形状・美観など文化財の現在の状況を余すところなく再現。

◉上杉智英・石塚晴通・小助川貞次による新知見を含む解題を付し、国宝『漢書楊雄伝』の文化史的位置づけを明らかにした。



＊『漢書』とは…
中国の正史、二十四史の一つとされる。一〇〇巻。後漢の文人、班固（三二～九二）の撰。前漢の高祖より王莽の地皇四年までの二二九年間（紀元前二〇六～後二三）の史事を紀伝体にて記す断代史。帝紀一二巻・表八巻・志一〇巻・列伝七〇巻より成る。

＊「楊雄」とは…
字は子雲。漢の蜀郡（現・四川省）成都の人。前漢時代末期の文人、学者、哲学者。揚雄とも。若い頃から辞賦作りに没頭し、都・長安に登ると官途に就いた。「甘泉賦」「長揚賦」など優れた辞賦を残し、その後は、学者として「太玄経」「法言」「方言」などの著作を世に輩出した。

本体二五、〇〇〇円（＋税）
A3判変形上製・函入特装本・一〇八頁
二〇一九年十二月刊行
ISBN978-4-585-28046-0 C3080

注文書

書名	部数
国宝 漢書楊雄伝 第五十七 京都国立博物館［原本所蔵・編］ 石塚晴通・上杉智英・小助川貞次［解説］ 本体 35,000円（＋税） A3判変形上製・函入特装本・108頁 2019年12月刊行 ISBN978-4-585-28046-0 C3080	部

通信欄

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/　FAX◉03-5215-9025

日本史・古文書学

日本古文書学会編集

古文書研究

第91号

2021年6月

定価4,180円（税込）・本体3,800円
B5判並製・カラー口絵2頁＋本文160頁
ISBN978-4-585-32401-0　C3321
2021年6月刊行

歴史学をはじめ、諸分野における研究の基盤をなす古文書学。
その最前線を伝える学術雑誌。年2回刊行。

目次

カラー口絵
論文
醍醐寺における法流相承と文書・聖教の生成――報恩院隆源を通して―― …… 佐藤亜莉華
室町幕府における侍所・山城守護の管轄領域区分 …… 松井直人
任官料足請取状（「饗料腰差酒肴」請取状）の検討 …… 村上絢一
特別寄稿　日唐の改元と大赦――水上雅晴編・高田宗平編集協力『年号と東アジア――改元の思想と文化――』（八木書店、二〇一九年）に寄せて …… 金子修一
研究ノート　「忽那一族軍忠次第」の成立 …… 山内　譲
史料紹介　伝『大外記中原師生母記（播磨局記）』文禄四年別記 …… 遠藤珠紀
追悼文　鈴江英一先生の想い出 …… 丸島和洋
古文書めぐり　石水博物館の歴史資料 …… 桐田貴史
随筆　古典と公家文化――戦国期の公家日記に見る―― …… 湯川敏治
研究余滴　将軍足利義晴上臈一対局と京都 …… 木下昌規
書評と紹介
明治大学広開土王碑拓本刊行委員会編／吉村武彦・加藤友康・徐建新・吉田悦志『明治大学図書館所蔵　高句麗広開土王碑拓本』 …… 荊木美行
独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所編『藤原宮木簡四』（奈良文化財研究所史料第九十一冊） …… 武井紀子
佐々木恵介著『日本古代の官司と政務』 …… 徳竹亜紀子
倉本一宏著『『御堂関白記』の研究』 …… 近藤好和
工藤浩編『先代旧事本紀論――史書・神道書の成立と受容』 …… 松本郁代
近藤剛著『日本高麗関係史』 …… 高　銀美
矢田俊文編『戦国期文書論』 …… 黒嶋　敏
一柳廣孝著『怪異の表象空間　メディア・オカルト・サブカルチャー』 …… 田部井隼人
中元崇智著『明治期の立憲政治と政党――自由党系の国家構想と党史編纂――』 …… 福井　淳
稲岡勝著『明治出版史上の金港堂――社史のない出版社「史」の試み』 …… 佐々木千恵
日本古文書学会二〇二〇年度総会要旨
彙報
口絵解説　仙台藩士青田家文書　二十一通 …… 荒木和憲
英文レジュメ

書　名	部数
古文書研究　第91号 日本古文書学会［編］ 定価4,180円（税込）・本体3,800円 B5判並製・カラー口絵2頁＋本文160頁 2021年6月刊行 ISBN978-4-585-32401-0 C3321	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田三崎町2-18-4　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

日本古文書学会〈編〉

古文書への招待

過去の人びとのいとなみを読み取る

長屋王家符、北条政子書状、足利義教自筆御内書、
豊臣秀吉朱印状、薩長同盟覚書裏書……
過去の人びとが書き残した「古文書」にはいったい何が書かれているのか？
古代から近代にわたる全四十五点の古文書を丹念に読み解くことで、
古文書のもつ意味、それを記述した人びとの個性、
書かれた背景をなす歴史的事件を明らかにする。
また、文章の内容のみならず、文字の書かれ方、料紙、大きさなど、
「モノ」としての古文書にも焦点を当て、その魅力に迫る。

カラー図版をふんだんに配し、
全点に翻刻・現代語訳・詳細な解説を付した
恰好の古文書入門！

本体二、〇〇〇円（＋税）
B5判並製カバー装・一七六頁（フルカラー）
二〇二一年一月刊行
ISBN978-4-585-22277-4 C1021

収録

〈1〉かたち
- 長屋王家符
- 他田日奉部直神護解
- 太政官符
- 源頼朝寄進状
- 伊賀国黒田荘悪党人縁者交名
- 武雄社大宮司都々亀丸代藤原通厚軍忠状
- 足利義満書状案
- 足利義教自筆御内書
- 東寺款状
- 羽柴秀吉制札
- 徳川家康起請文
- 豊臣秀吉朱印状
- 開帳差免帳
- 交代寄合山名義善書置

〈2〉ひと
- 僧正聖宝置文
- 平清盛譜文
- 北条時政譜文
- 源頼朝書状
- 北条政子書状
- 東大寺大勧進重源自筆書状
- 高麗渤海関係某書状
- 藤原為家譲状
- 足利尊氏御判御教書
- 沙弥恵尊（小田孝朝）書状
- 足利義維御内書
- 武田信玄自筆願文
- 織田信長印判状
- 豊臣秀吉知行方目録
- 三井八郎右衛門宛寺井庄右衛門起請文
- 薩長同盟覚書裏書（坂本龍馬筆）

〈3〉できごと
- 太政官符写
- 源実朝袖判下文
- 右馬允康経書状
- 某書状案断簡
- 護良親王令旨
- 大蔵大輔某奉書
- 足利尊氏御判御教書
- 征西将軍宮令旨
- 今川了俊書下
- 栖雲斎蔵阿書状
- 白川義親書状
- 丹羽長秀書状
- 毛利輝元起請文案
- 黒田如水（孝高）書状
- 五箇条の御誓文

豊臣秀吉知行方目録
関地蔵院所蔵
［画像提供・亀山市歴史博物館］

書　名	部数
古文書への招待 日本古文書学会［編］ 本体3,000円（＋税） B5判並製カバー装・176頁 2021年1月刊行 ISBN978-4-585-22277-4 C1021	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版　千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/　FAX◉03-5215-9025

和漢朗詠集とその享受 増訂版

三木雅博〈著〉

日本にもたらされた中国の漢詩文、
それを承けて平安朝の文人たちが
つくりあげた日本の漢詩文、
一方で万葉以来展開してきた和歌、
これらが享受されていく歴史の交差点に
成立したのが『和漢朗詠集』である。
本書は『和漢朗詠集』の成立と享受を
論じることにより、
和の世界が有していた流れと
漢の世界からもたらされた流れが交錯し、
新しい流れが生み出されていく
我が国の文化の創造の過程で現れた、
一つの典型的な現象を明らかにしていく。
増補・改訂により待望の復刊。

【著者プロフィール】
三木雅博（みき・まさひろ）
一九五四年和歌山県生まれ。大阪市立大学大学院博士後期課程単位取得満期退学。梅花女子大学文化表現学部日本文化学科教授。博士（文学）。専門は日中比較文学、平安朝文学。
著書に『平安詩歌の展開と中国文学』（和泉書院、一九九九年）、『平安朝漢文学鉤沈』（和泉書院、二〇一七年）、角川ソフィア文庫『和漢朗詠集現代語訳付き』（株式会社KADOKAWA、二〇一三年）など。

【目次】

まえがき
序文　伊藤正義
増訂版の刊行にあたって
序　『和漢朗詠集』研究史の沿革と本書

第Ⅰ篇…『和漢朗詠集』の構成
一　『和漢朗詠集』全般の構成
　——『古今集』をはじめとする勅撰和歌集との関において——
二　『和漢朗詠集』上巻四季部の構成——先行詞華集との関連において——
三　『和漢朗詠集』下巻雑部の構成——先行詞華集との関連において——
四　『和漢朗詠集』八月十五夜・月部の構成——都の月・他郷の月——
五　『和漢朗詠集』の部立「白」に関する考察
　——『朗詠集』の構成と周辺の資料から——
六　『和漢朗詠集』帝王・親王・丞相部の所収和歌をめぐって
　——『古今集』序、同序古注（公任注）とのかかわりを視野において——

第Ⅱ篇…『和漢朗詠集』の本文
一　『和漢朗詠集』の享受と諸写本の本文形態の相違
二　『和漢朗詠集』古写本における佳句本文の改変をめぐって
三　『和漢朗詠集』古写本における和歌本文の異同と部立の配列
　——春部末の「藤」「躑躅」「款冬」の部立を中心に——
四　『和漢朗詠集』博士家写本の解読
　——学的情報としての注記の「読み取り」——

第Ⅲ篇…『和漢朗詠集』の享受と古注釈
一　院政期における和漢朗詠集注釈の展開
　——『朗詠江注』から『和漢朗詠集私注』へ——
二　『和漢朗詠集私注』の方法
三　『和漢朗詠集私注』の変貌——平安末期から
　室町期にかけての『和漢朗詠集』写本の動向と関連して——
四　鎌倉前期における和漢朗詠集注釈の展開
　——『和漢朗詠集私注』から『和漢朗詠集永済注』『和漢朗詠註抄』へ——
五　朗詠注における説話

附篇
一　『千載佳句』の部門の構成に関する考察
　——冒頭の四時部を対象として——
二　『和漢朗詠集』所引唐人賦句雑考——出処と享受の問題を中心に——

索引（事項・書名・人名・題目・詩句・和歌）

本体一五、〇〇〇円（＋税）
A5判上製カバー装・四八〇頁
二〇二〇年十二月刊行
ISBN978-4-585-29202-9　C3091

＊『和漢朗詠集とその享受』（勉誠出版、一九九五年）の増補改訂です。

書名	部数
和漢朗詠集とその享受 増訂版 三木雅博〈著〉 本体15,000円（＋税） A5判上製カバー装・480頁 2020年12月刊行 ISBN978-4-585-29202-9 C3091	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

書誌学・出版史・中世文学・日本史（中世・近世）

中近世移行期の文化と古活字版

高木浩明［著］

人々を魅了した新たなメディア

十六世紀末、従来出版活動を行っていた寺院はもとより、天皇や将軍そして新興の豪商などをも魅了した、日本書物史における新たなメディアが誕生した。

――古活字版である。

これらは、どのような環境において、いかなる人的ネットワークのもとで刊行され、どのように享受されたのか。古典の代表作として広く享受され、多数の現存伝本を持つ下村本『平家物語』、史上稀なる豪華活字版本として製作された「嵯峨本」、そして、古活字版製作をめぐる場と人びとに着目し、長年にわたる古活字版の悉皆調査を行ってきた知見をもとに日本出版史における古活字版の時代を炙り出す。

嵯峨本諸本、『平家物語』下村本諸本の現存伝本目録を収載。

図版点数 約200点!

［著者プロフィール］

高木浩明（たかぎ・ひろあき）

清風高等学校・近畿大学文芸学部非常勤講師。専門は日本中世文学、書誌学。古活字版の悉皆調査により、第3回「岩瀬弥助記念書物文化賞」を受賞。著書、論文に「古活字版悉皆調査目録稿」（一）～（九）（鈴木俊幸編『書籍文化史』第十一～十九集、二〇一〇～一八年）、「大東急記念文庫蔵古活字版悉皆調査目録稿」（『調査研究報告』第四十号、国文学研究資料館、二〇二〇年）などがある。

［目次］

はじめに

第一部　下村本『平家物語』とその周辺

第一章　下村本『平家物語』と製作環境をめぐって
第二章　下村本『平家物語』書誌解題稿
第三章　『平家物語』十行平仮名古活字本は
　　下村本の底本たり得るか
第四章　下村本『平家物語』とその周辺
　　――國學院大學図書館蔵本から考えられること
第五章　『平家物語』古活字覚一本についての覚書
第六章　古活字版『源平盛衰記』の諸版について

第二部「嵯峨本」の世界

第一章　「嵯峨本」再見――現存伝本調査報告
第二章　嵯峨本『伊勢物語』書誌考証
　第二章付録　嵯峨本『伊勢物語』（慶長十三年初刊本）
　　部分異植字一覧
第三章　古活字版『伊勢物語』書誌解題稿
第四章　嵯峨本『方丈記』書誌考証
第五章　嵯峨本『撰集抄』書誌考証

第三部　古活字版をめぐる場と人々

第一章　『百人一首抄』（幽斎抄）成立前夜
　　――中院通勝の果たした役割
第二章　『徒然草寿命院抄』成立前夜
　　――中院通勝真筆本『つれ〴〵私抄』の紹介を兼ねて
第三章　古活字版『徒然草寿命院抄』書誌解題稿
第四章　角倉素庵と学問的環境
第五章　古活字版を必要とした人々
第六章　古活字版『大和物語』の刊行年時を考える
第七章　古活字版『後漢書』の刊行年時を考える
第八章　本文は刊行者によって作られる
　　――要法寺版『沙石集』を糸口にして
第九章　要法寺という場について考える
第十章　二兵衛とその出版活動をめぐる覚書

おわりに／初出一覧／図版一覧／索引

本体15,000円（+税）
A5判上製カバー装・880頁
ISBN 978-4-585-20077-2・C3000
2020年11月刊行

書　名	部数
中近世移行期の文化と古活字版 高木浩明［著］ 本体15,000円（+税） A5判上製カバー装・880頁 ISBN 978-4-585-20077-2・C3000 2020年11月刊行	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

真田幸弘 点取百韻 翻刻と解題

ささなだゆきひろてんとりひゃくいんほんこくとかいだい

玉城 司・小幡 伍〈編著〉

江戸時代語の宝庫、大名の点取俳諧を翻刻した資料集

真田宝物館（長野市松代町）が収蔵する松代藩第六代藩主・真田幸弘（菊貫）が同座した点取俳諧資料集『菊の分根』の百韻・五十八巻を原本に忠実に翻刻。詳細な解題・解説を附す。武家と庶民の身分を越えた交流の様相を知ることができ、また、「猪牙」（吉原通いの舟）、「素破」（忍者）、「女商・数間」（仲介業者）、「温石」（カイロ）、「列卒」（狩り場の人夫）など、〈日葡辞書〉にも採られる江戸時代語を多数含む。

俳諧研究のみならず、国語学や、地方と中央を結ぶ歴史学、俳句に詠みこまれた風俗研究等の発展に大きく寄与する一書。

〈本書の特色〉

- **真田幸弘の点取百韻『菊の分根』は、連衆が大名と家臣等の武家、批点する宗匠は庶民であり、身分を越えた交流が俳諧の座でなされた様相を具体的に知ることができる。**
- **武家自らが興じた百韻の言葉から、大名等の思想や嗜好をうかがい知ることができる**
- **細川重賢の俳諧資料集『俳諧集』（出水叢書　汲古書院）との比較も可能になり、より多角的な視点から近世俳諧を考察するための基礎資料となる。**

〈もくじ〉

カラー口絵
凡　例

翻　刻

第1冊（宝暦十三年九月二十九日～明和元年八月二十四日）
植た手の／瀧守の／居酒屋に／四季の内に／四季の内に／四季のうちに／蝶は夢／梅一木／梅一木／青柳は／色こその／青簾／笠とるや／手拭に／笠取るや／鶏頭は

第2冊（明和元年十月十三日～明和二年八月）
初冬や／畠とは／百年の／初雪や／降れ霰／あれ聞けと／砂書を／穴の明く／うくゐすの／咲ふかと／暮惜しむ

第3冊（明和九年七月二十二日～安永元年十一月十六日）
誰か為そ／初秋や／根を分ける／残る蚊を／蜑は子に／放したる／草の戸や／振さくる／柿に六ツ／十六夜も／むかし聞ケ／されはこそ／磯くさき／しみ〳〵と／横乗の

第4冊（安永元年十二月三日～安永二年二月二十日）
口切や／息才を／水仙の／いや応は／一片の／口切や／水仙は／水仙の／一ツ宛／四季のうちに／思わすも／水にすむ／若菜野や／方円の／水に住む／方円の

解題・解説

解題〈全体〉
解題〈冊子ごと〉
解説

付表　明和・安永初期「菊の分根」一覧
あとがき

〈編著者プロフィール〉

玉城 司（たまき・つかさ）
上田女子短期大学特任教授。専門は近世俳諧史。
主な著書に、『蕪村句集』（角川ソフィア文庫、二〇一一年）、『一茶句集』（同、二〇一三年）、共編著に、『元禄名家句集略注 上嶋鬼貫篇』（新典社、二〇二一年）などがある。

小幡 伍（おばた・あつむ）
信州大学教育学部卒業。専門は英語教育。
主な著書に、『松代歴史散策』（鬼灯書籍、二〇〇九年）、『続・松代歴史散策』（龍鳳書房、二〇一七年）、共編著に『松代見て歩き』（真田宝物館、二〇〇二年）、『真田宝物館への招待』（同、二〇〇三年）、『松代城ものがたり』（同、二〇〇四年）などがある。

本体 九、〇〇〇円（+税）
A5判上製カバー装
カラー口絵四頁＋本文三〇四頁
二〇二一年二月刊行
ISBN978-4-585-29204-3 C3095

書　名	部　数
真田幸弘点取百韻 翻刻と解題 玉城 司・小幡 伍［編著］ 本体9,000円（+税） A5判上製カバー装 カラー口絵4頁＋本文304頁 2021年2月刊行 ISBN978-4-585-29204-3 C3095	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版　千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/　FAX◉03-5215-9025

近世後期テニヲハ論の展開と活用研究

遠藤佳那子［著］

日本語文法研究史を辿るための必読書！

漢文訓読や歌論・連歌論等、
日本語に関わる人々の関心事であり続けた「テニヲハ」。
近世後期に入ると、国学者たちはテニヲハの研究を深め、
陸続と語学書や活用表が編まれた。
現代とは異なる範囲と尺度を持つその活用表は、
語学的な営為の結晶であるとともに
歌学・古典学の精髄でもあった。
近世の伝統的なテニヲハ研究を、
動詞の活用研究との関係から辿り、
近代的文法研究にどのような影響を与えたのかを検討。
国学研究の地平に肉薄し、その射程を読み解く。

附録として未発表資料、
黒川真頼『詞の栞』影印・翻刻を掲載。

【平成三十年度 新村出記念財団重山文庫 刊行助成出版】

＊「テニヲハ」とは…

助詞・助動詞のことを指す。「テニヲハ」という用語はヲコト点の四隅にある点が起源とされ、はじめは漢文訓読や和文の漢字表記を試みる過程において問題とされた。その一方で、歌論や連歌論の世界でも和歌や連歌を創作する際に、歌の出来を左右する要として重要視されたため、「テニヲハ」は最重要項目の位置を占めた。

［目次］

口絵　黒川真頼 草稿『詞の栞』影印
巻頭言◎**服部隆**
はじめに／序章
第一部　完了「り」の学説史
第一章　完了「り」考——鈴木朖まで
第二章　完了「り」考——本居春庭以降
第三章　「自他」再考
第二部　命令形の学説史
第四章　「命令形」考
第五章　続「命令形」考——明治前期における
第六章　「属（ぞく）」考——意味分類の試み
第三部　八衢の系譜
第七章　黒川真頼の活用研究と草稿「語学雑図」
第八章　黒川真頼における『詞八衢』の受容と展開
終章
おわりに
【附録一】東京大学国語研究室蔵　黒川文庫目録〈語学之部〉小型本／黒川文庫 小型本 調査報告
【附録二】黒川真頼 草稿『詞の栞』影印・翻刻（一部）
【附録三】黒川真頼『詞乃栞打聴』翻刻
参考文献・引用文献一覧／初出一覧／索引

［著者紹介］

遠藤佳那子（えんどう・かなこ）　一九八六年生。上智大学大学院文学研究科国文学専攻博士後期課程満期退学。博士（文学）。現在、都留文科大学・フェリス女学院大学・実践女子大学非常勤講師。専門は日本語学、日本語学史。主な論文に「「自他」再考——近世テニヲハ論における」（『上智大学国文学論集』50、二〇一七年）、「明治前期の活用表における〈命令形〉」（『日本近代語研究』6、二〇一七年）、「黒川真頼における『詞八衢』の受容と展開」（『国語と国文学』94-7、二〇一七年）などがある。

本体八、〇〇〇円（＋税）
A5判上製カバー装・三四四頁
二〇二〇年一月刊行
ISBN978-4-585-28047-7 C3081

書　名	部　数
近世後期テニヲハ論の展開と活用研究 **遠藤佳那子**［著］ 本体8,000円（＋税） A5判上製カバー装・344頁 2020年1月刊行 ISBN978-4-585-28047-7 C3081	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

日本語学

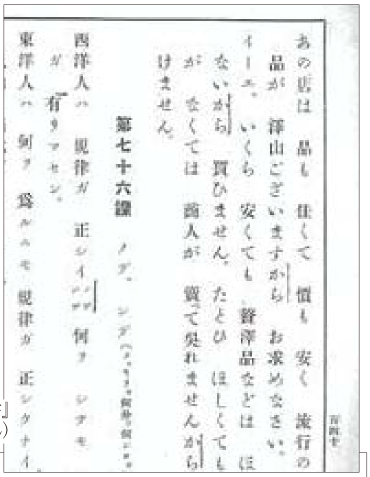
近代日本語教科書語彙索引

伊藤孝行［編］

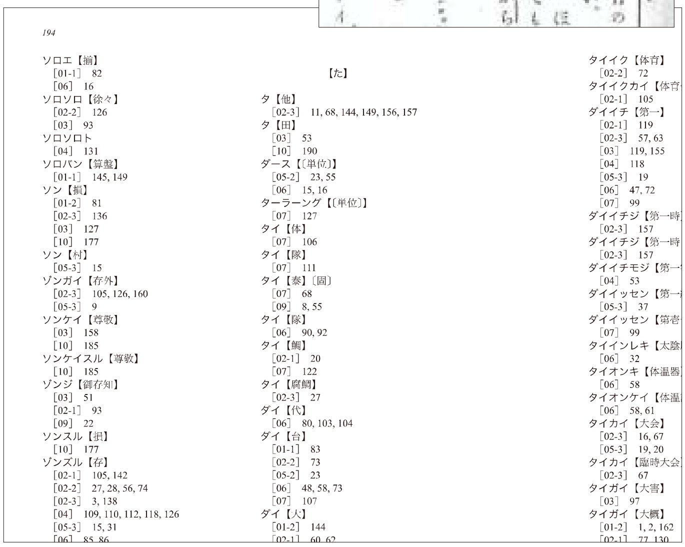
定価8,800円／本体価格8,000円
A5判並製・376頁
2021年10月刊行
ISBN978-4-585-38002-3 C3081

近代日本語教科書には どのようなことばが取り上げられていたのか

明治期から戦中期にかけて日本国内外で刊行された日本語教科書は、刊行当時のことばが記録された「日本語史資料」として、また使用者のニーズを考慮しながら一定の規範となる日本語を映した「日本語教育史資料」として、日本語の歴史や教育の歴史を詳らかにする上で、看過することのできない重要な資料である。
本書は、近代日本語教科書 10 種 15 冊の本文全文をテキスト化し、索引の見出し語として約 25,000 語を採用。
日本語史・日本語教育史をはじめとする諸分野研究に資する、
近代語資料の隙間を埋める一冊。



宏文学院（1906）『日本語教科書』
（本書には掲載しておりません）



194

ソロエ【揃】
［01-1］ 82
［06］ 16
ソロソロ【徐々】
［02-2］ 126
［03］ 93
ソロソロト
［04］ 131
ソロバン【算盤】
［01-1］ 145, 149
ソン【損】
［01-2］ 81
［02-3］ 136
［03］ 127
［10］ 177
ソン【村】
［05-3］ 15
ゾンガイ【存外】
［02-3］ 105, 126, 160
［05-3］ 9
ソンケイ【尊敬】
［03］ 158
［10］ 185
ソンケイスル【尊敬】
［10］ 185
ゾンジ【御存知】
［03］ 51
［02-1］ 93
［09］ 22
ソンスル【損】
［10］ 177
ゾンズル【存】
［02-1］ 105, 142
［02-2］ 27, 28, 56, 74
［02-3］ 3, 138
［04］ 109, 110, 112, 118, 126
［05-3］ 15, 31
［06］ 85, 86

【た】

タ【他】
［02-3］ 11, 68, 144, 149, 156, 157
タ【田】
［03］ 53
［10］ 190
ダース【〔単位〕】
［05-2］ 23, 55
［06］ 15, 16
ターラーング【〔単位〕】
［07］ 127
タイ【体】
［07］ 106
タイ【隊】
［07］ 111
タイ【泰】〔固〕
［07］ 68
［09］ 8, 55
タイ【隊】
［06］ 90, 92
タイ【鯛】
［02-1］ 20
［07］ 122
タイ【腐鯛】
［02-3］ 27
ダイ【代】
［06］ 80, 103, 104
ダイ【台】
［01-1］ 83
［02-2］ 73
［05-2］ 23
［06］ 48, 58, 73
［07］ 107
ダイ【大】
［01-2］ 144
［02-1］ 60, 62

タイイク【体育】
［02-2］ 72
タイイクカイ【体育
［02-1］ 105
ダイイチ【第一】
［02-1］ 119
［02-3］ 57, 63
［03］ 119, 155
［04］ 118
［05-3］ 19
［06］ 47, 72
［07］ 99
ダイイチジ【第一時
［02-3］ 157
ダイイチジ【第一時
［02-3］ 157
ダイイチモジ【第一
［04］ 53
ダイイッセン【第一
［05-3］ 37
ダイイッセン【第壱
［07］ 99
タイインレキ【太陰
［06］ 32
タイオンキ【体温器
［06］ 58
タイオンケイ【体温
［06］ 58, 61
タイカイ【大会】
［02-3］ 16, 67
［05-3］ 19, 20
タイカイ【臨時大会
［02-3］ 67
タイガイ【大害】
［03］ 97
タイガイ【大概】
［01-2］ 1, 2, 162
［02-1］ 77, 130

【本書の特色】

- ▶明治期から戦中期までに刊行された日本語教科書10種15冊の本文全文をテキスト化し、それぞれの出現位置情報を明示。

◎収録資料
金井保三（1904）『日語指南　壹』中国語母語話者向け
金井保三（1905）『日語指南　貳』中国語母語話者向け
宏文学院（1906）『日本語教科書　第一巻』中国語母語話者向け
宏文学院（1906）『日本語教科書　第二巻』中国語母語話者向け
宏文学院（1906）『日本語教科書　第三巻』中国語母語話者向け
大宮貫三（1907）『日語活法』中国語母語話者向け
M. D. Berlitz（1919）『日本語教科書』英語母語話者向け
東亜高等予備学校（1932）『日本語のはじめ一』中国語母語話者向け
東亜高等予備学校（1932）『日本語のはじめ二』中国語母語話者向け
東亜高等予備学校（1933）『日本語のはじめ三』中国語母語話者向け
泉虎一（1938）『日暹会話便覧』タイ語母語話者向け
三木栄（1940）『日泰会話』タイ語母語話者向け
モンコール・オンシクール（1941）『日泰会話』タイ語母語話者向け
鉄道省国際観光局（1942）『日泰会話』タイ語母語話者向け
国際文化振興会（1942）『NIPPONGO』タイ語母語話者向け

- ▶検索可能なテキストデータとしては未公開の資料群の語彙も検索可能。
- ▶複合語は後項部（後項語）からも調べることが可能。

【編者プロフィール】

伊藤孝行（いとう・たかゆき）
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授。専門は国語学、日本語教育。
國學院大學大学院文学研究科博士課程後期修了。博士（文学）。タイ国立タマサート大学外国人専任講師、財団法人交流協会（現：公益財団法人日本台湾交流協会）日本語専門家、名桜大学講師・准教授・上級准教授、北海道大学留学生センター准教授を経て現在に至る。

書　名	部　数
近代日本語教科書語彙索引 伊藤孝行［編］ 定価8,800円／本体価格8,000円 A5判・並製・376頁 2021年10月刊行 ISBN978-4-585-38002-3 C3081	部
ご送付先ご住所（通信欄）	

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田三崎町2-18-4　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

論究 日本近代語 第１集

日本近代語研究会［編］

創刊！

広義の日本近代語における歴史と構造を、文字、文法、語彙といった日本語学の観点から詳細に分析した、日本文学、日本史学、日本語教育学、表現論などの分野にも資する論文集。

日本近代語研究会

（にほんきんだいごけんきゅうかい）
1982年に「青年近代語研究会」として発足した（1984年1月から「近代語研究会」、2011年5月から現在の名称）、広い意味での近代語（室町時代以降の日本語）に関する研究者の集まり。年十回の研究発表会および『論究日本近代語』刊行の事業を行う。

本体 15,000 円（+税）
A5判上製カバー装・424頁
ISBN978-4-585-28521-2 C3081
2020年3月刊行

第１集【目次】

創刊の辞■日本近代語研究会
連語から見た『徒然草』第1部・第2部
——接続機能表現のプレ近代化と文体——■安部 清哉
キリシタン版辞書での同音異義と一語多義■豊島 正之
キリシタン版『日葡辞書』「序文」の二重印刷に見る編纂方針について■中野 遙
ミギテの通時的考察
——〈右の手〉〈右の方〉を表す周辺語句の変遷との関わりを中心に——■木川 あづさ
『雑字類編』の書き入れ語——『福恵全書』との関連を巡って——■荒尾 禎秀
『語学新書』における格理解
——国学の言語研究をどのように取り入れたか——■服部 紀子
明治期の漢字の「かたち」について——『天変地異』を資料として——■今野 真二
『世界商売往来』の依拠資料について■丸山 健一郎
『［校正／増補］漢語字類』における漢字字形のバリエーションについて■内田 久美子
日本における「ウラジオストク」の漢字表記■シャルコ アンナ
『言海』校正刷における漢字字体／字形について■小野 春菜
「續々金色夜叉續編」・「新續金色夜叉」の四種本文対照
——『讀賣新聞』、『新小説』、『紅葉全集』、『七版續々金色夜叉』——■許 哲
日本統治期台湾の初等国語教科書における一人称代名詞
——国定教科書との比較を通して——■山田 実樹
テキストアナリシスによる明治期日本語教科書『日語活法』の検証■伊藤 孝行
宏文学院の日本語教師編纂の会話教科書における謙譲表現
——『東語会話大成』を中心に——■薛 静
台湾の日本語教育月刊誌『国光』（昭和7年創刊）における投稿文の資料性
——誤用と誤文訂正を中心に——■園田 博文
日仏オノマトペの対照
——宮沢賢治『セロ弾きのゴーシュ』と*Gauche le violoncelliste*——■瀬川 愛美
上田万年をマンネンと呼ぶは礼か非礼か
——近代日本における〈名の字音読み〉習俗の人称——■三浦 直人
「わりに」「割合に」の歴史的変遷
——接続助詞用法と副詞用法の関連を中心に——■川島 拓馬
丁寧体否定形式「～ませんです」の動向
——「国会会議録検索システム」を例に——■神作 晋一
日本語教育における授受表現の効果的な教え方と
そこに見る日本人の「ウチとソト」感覚■木下 哲生
現代語における接続助詞的用法のトコロヲについて■佐伯 暁子
職場の会話における副詞の使用——職場談話コーパスを調査資料として——■呉 雨
「なるほど」考——応答表現としての意味・用法——■苅宿 紀子
現代語の副助詞デモの各用法について
——いわゆる「譲歩」「極端」と「例示」の関係について——■星野 佳之
索引／執筆者一覧
編集後記■小野正弘

書　名	部数
論究 日本近代語 第１集 日本近代語研究会［編］ 本体15,000円（+税） A5判上製カバー装・424頁 2020年3月刊行 ISBN978-4-585-28521-2 C3081	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

日本語学

受賞致しました！
令和3年度　田島毓堂語彙研究基金学術賞

コーパスと近代日本語書き言葉の一人称代名詞の研究

近藤明日子［著］

本体8,500円（+税）
A5判上製カバー装・400頁
ISBN978-4-585-28052-1　C3081
2021年2月刊行

新漢語の発生や言文一致の進展に代表されるように、
約60年という短期間に書き言葉が劇的に変化した
明治・大正期。この時期には活版印刷技術の普及や
マスメディアの発達により、膨大な量の書き言葉の
資料が出版され流通した。
本書では、そのような急激な変化を内包した資料群の
縮図とも言える近代雑誌のコーパスを使用して、
先行研究でほとんど扱われてこなかった
明治・大正期の書き言葉における一人称代名詞の
体系と通時的変化について分析・考察する。
一人称代名詞という言語項目の研究そのものとともに、
それを果たすために、著者自らも構築に携わった
近代雑誌コーパスの設計・資料特性の研究も展開。

コーパスの活用により浮かび上がる
近代日本語史の知られざる側面

【目次】

序

Ⅰ　**本研究で使用したコーパスと研究方法**
第1章　近代雑誌コーパスの設計
第2章　一人称代名詞と使用場面属性の抽出・分類
第3章　言語量から見る近代雑誌コーパスの資料特性

Ⅱ　**近代書き言葉の一人称代名詞**
第4章　『明六雑誌』の一人称代名詞
第5章　『東洋学芸雑誌』の一人称代名詞
第6章　『国民之友』の一人称代名詞
第7章　『太陽』の文語体書き言葉の一人称代名詞
第8章　明治・大正期の文語体書き言葉における一人称代名詞の通時的変化
第9章　『太陽』の口語体書き言葉の一人称代名詞

Ⅲ　**近代話し言葉の一人称代名詞**
第10章　『太陽』の口語体会話文の一人称代名詞

Ⅳ　**女性雑誌の一人称代名詞**
第11章　女性雑誌の書き言葉の一人称代名詞

第12章　女性雑誌の口語体会話文の一人称代名詞

結

参考文献・参考URL
本書と既発表研究との関係
謝　辞
索　引

【執筆者プロフィール】

近藤明日子（こんどう・あすこ）
国立国語研究所プロジェクト非常勤研究員。専門は日本語学。
著書に『シリーズ〈日本語の語彙〉5　近代の語彙①――四民平等の時代――』（共著、朝倉書店、2020年）、論文に「語種率・品詞率から見る明治・大正期の口語体実用文」（『近代語研究　第二十一集』武蔵野書院、2019年）、研究業績に『日本語歴史コーパス　明治・大正編Ⅱ教科書』（短単位データ1.0）（共同開発、国立国語研究所、2018年）、『日本語歴史コーパス　明治・大正編Ⅰ雑誌』（短単位データ1.2）（共同開発、国立国語研究所、2019年）、『日本語歴史コーパス　明治・大正編Ⅲ明治初期口語資料』（短単位データ0.8）（共同開発、国立国語研究所、2019年）などがある。

書　名	部数
コーパスと近代日本語書き言葉の一人称代名詞の研究 近藤明日子［著］ 本体8,500円（+税） A5判上製カバー装・400頁 2021年2月刊行 ISBN978-4-585-28052-1 C3081	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

言語学

ベトナム語空間ダイクシスとその展開

指示詞から文末詞・感動詞へ

安達真弓 著

本体11,000円(+税)・本体10,000円
A5判上製カバー装・272頁
2021年5月刊行
ISBN978-4-585-38001-6 C3087

ベトナム語には、話し手から指示対象までの距離に基づいて区別される3系列の指示詞がある。指示詞の基本的な形式は全て、それと同形の文末詞と感動詞のいずれか、あるいはその両方を持つ。
指示詞・文末詞・感動詞という3つのカテゴリー間の形式的な類似は、偶然の産物か。
これらの機能的な共通項は何か。
現代ベトナム語における同形式の指示詞・文末詞・感動詞の比較を通して、
言語類型論にも新たな実証的データを提供する。

本書の特色

◎ベトナム語における3系列の指示詞の間の違いを明らかにする。
◎指示詞・文末詞・感動詞という3つのカテゴリーがダイクシス表現(その解釈に言語外の文脈情報を必須とする表現)であるという共通項を持つことに着目し、その多様な機能を体系的に整理する。

著者プロフィール

安達真弓(あだち・まゆみ)
東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所、助教。
専門はベトナム語の調査研究。
主な論文に"Vietnamese demonstratives *đây, đó, kia*"(2011年、*Mon-Khmer Studies Journal, Special issue* 3: 1–8)や「ベトナム語の遠称指示詞*kia*と*kia*について」(2012年、『東京大学言語学論集』32号: 1–10)がある。

目次

はじめに
第1章…先行研究の整理と用語の定義
第2章…ベトナム語の指示詞
第3章…ベトナム語指示詞由来の文末詞
第4章…ベトナム語指示詞由来の感動詞
第5章…おわりに
——ベトナム語指示詞から文末詞・感動詞への文法化
引用したデータ
参考文献
付録:自然談話のデータ
あとがき

書名		部数
ベトナム語空間ダイクシスとその展開 指示詞から文末詞・感動詞へ 安達真弓 著	定価11,000円(税込)・本体10,000円 A5判上製カバー装・272頁 2021年5月刊行 ISBN978-4-585-38001-6 C3087	部

ご送付先ご住所(通信欄)

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

言語学

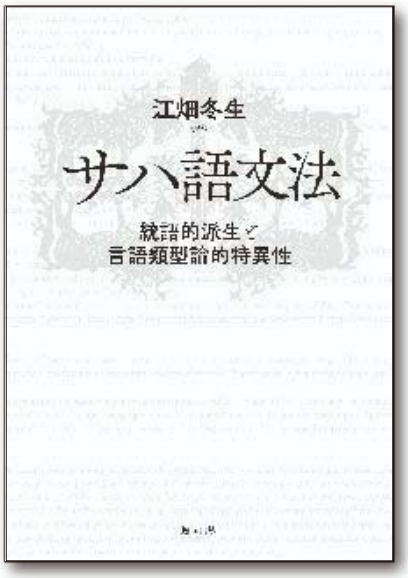
サハ語文法
統語的派生と言語類型論的特異性

本体 9,800 円(+税)
A5判上製カバー装・264頁
ISBN978-4-585-28049-1 C3087
2020年4月刊行

江畑冬生 ［著］

日本の真北にあたる東シベリアで話されているチュルク系言語。
長年のフィールド調査による記述研究から、
一見すると複雑なサハ語の形態音韻交替や形態統語法を
言語研究一般へも資する形で整理する。
統語的派生、二重対格使役文、非人称受動文などの
言語類型論的な特異性にも注目。

サハ語の初の記述研究書！



【目次】

はじめに　本書の特色・構成・データと出典
図表一覧
略号一覧
第1章　**サハ語の概要**
第2章　**形態音韻交替**
第3章　**名詞類の形態統語法の概要**
第4章　**動詞の形態統語法の概要**
第5章　**主節述語に付加する接辞と文末接語**
第6章　**語彙的派生と統語的派生**
第7章　**名詞類の分類と統語機能**
第8章　**ボイス接辞による派生と非典型的構文**
第9章　**目的語の形式選択に関わる要因**
第10章　**サハ語の特質**
参考文献
あとがき
附録　主な屈折接辞と活用表
用語・言語名索引

【著者プロフィール】

江畑冬生（えばた・ふゆき）
新潟大学人文学部・准教授. 専門は言語学, チュルク諸語研究（特にサハ語およびトゥバ語を現地調査により研究）. 2012年に博士論文『サハ語名詞類の研究――接辞法と統語機能を中心に――』を東京大学大学院に提出し, 博士号を取得.
主な論文に「サハ語（ヤクート語）の「双数」の解釈――聞き手の数からの分析――」（『言語研究』151号, 63-74.）や「トゥバ語の証拠性を表すとされる接辞-***dir***の機能――話し手・聞き手の認識からの説明――」（『北方言語研究』第9号, 31-39.）がある.

…詳細情報は裏面をご覧ください。

書　名	部　数
サハ語文法 統語的派生と言語類型論的特異性 江畑冬生［著］ 本体9,800円(+税) A5判上製カバー装・264頁 2020年4月刊行 ISBN978-4-585-28049-1 C3087	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版　※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

文学・言語・歴史・地理・芸術・情報・統計・総記

文化情報学事典

2019年12月刊行！

村上征勝［監修］

金明哲・小木曽智信・中園聡・矢野桂司・赤間亮・阪田真己子・宝珍輝尚・芳沢光雄・渡辺美智子・足立浩平［編集］

本体18,000円（＋税）

A5判上製カバー装・850頁

ISBN 978-4-585-20071-0　C3000

文化と情報にかかわる人々必携の一冊！

コンピューターの進歩により、デジタル情報の利用が飛躍的に加速している。
感性や主観が重視されてきた文化の領域でも、
文学・美術・考古・歴史・音楽・芸能をはじめとする
文化資産をデジタル化し、保存・管理や展示を行う技術が進歩し、
またデジタルな分析ツールの発展もめざましい。
文化情報学は個々の領域で独立に行われてきた文化研究という縦の糸を、
データサイエンスという理系の横の糸で編みあげる
文理融合型のアプローチであり、本書はその集大成である。

文化現象をデータサイエンスで読み解く総合事典

本書の特色

- 「文化」と「情報」に関する文理融合型の総合事典
- 理論から具体的な実践例まで収録した“読む”事典
- 300を超える多くの図表・写真でビジュアルも充実
- 総計100名を越える第一線の研究者・専門家が執筆
- 分析ソフトの紹介と日本語／英語索引で検索も充実

内容構成

A　領域篇
- A-1　文章・文献
- A-2　言語
- A-3　考古・歴史
- A-4　人文地理
- A-5　文化・芸術
- A-6　身体文化・行動計量
- A-7　コンピューター・情報

B　データ分析篇
- B-1　データ分析の基礎
- B-2　量的分析法
- B-3　質的分析法

C　分析用ソフト

◉付表　統計分布表◉索引

※内容構成の詳細は裏面参照

【プロフィール】

［監修］

村上征勝（むらかみ・まさかつ）

統計数理研究所名誉教授、総合研究大学院大学名誉教授、元同志社大学文化情報学部長。工学博士。研究分野は計量文献学、統計学。主な著書に、『シェークスピアは誰ですか？――計量文献学の世界』（文春新書、2004年）、『文化情報学入門』（勉誠出版、2006年）、『計量文献学の射程』（共著、勉誠出版、2016年）などがある。

［編集］

金明哲（同志社大学教授）
中園聡（鹿児島国際大学教授）
赤間亮（立命館大学教授）
宝珍輝尚（京都工芸繊維大学教授）
渡辺美智子（慶應義塾大学教授）
小木曽智信（国立国語研究所教授）
矢野桂司（立命館大学教授）
阪田真己子（同志社大学教授）
芳沢光雄（桜美林大学教授）
足立浩平（大阪大学教授）

書　名	部　数
文化情報学事典 村上征勝［監修］ 金明哲・小木曽智信・中園聡・矢野桂司・赤間亮・ 阪田真己子・宝珍輝尚・芳沢光雄・渡辺美智子・足立浩平［編集］ 本体 18,000 円（＋税） A5判上製カバー装・850頁 ISBN 978-4-585-20071-0　C3000 2019年12月刊行	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX◉03-5215-9025

文化情報学事典

監修…村上征勝
編集…金明哲・小木曽智信・中園聡・矢野桂司・赤間亮・阪田真己子・
宝珍輝尚・芳沢光雄・渡辺美智子・足立浩平

本体 18,000 円（＋税）
A5判上製カバー装・850頁
ISBN 978-4-585-20071-0 C3000
2019年12月刊行

項目一覧

＊項目数…127項目

A 領域篇

[A1 文章・文献]
文学・文献の計量分析／計量文献学／計量文体論／平安朝物語の計量分析／西鶴遺稿集の著者問題／『今昔物語集』の文体／中古和文における個人文体とジャンル文体／現代日本語の計量文体論／現代文におけるジャンル別の文体的特徴／論述文の文体的特徴／個人の文体変化／文体模倣の計量分析／川端康成の代筆疑惑／社会学におけるテキスト分析／ツイッターにおけるテキストの計量分析／SNSにおける計量テキスト分析／法科学分野の文章の計量分析

[A2 言　語]
言　語／コーパス言語学／書き言葉コーパス／話し言葉コーパス／学習者コーパス／形態素解析／構文解析／シソーラス／文字コード／方言地図とGIS／社会言語学調査／音声処理／言語系統論／機械翻訳

[A3 考古・歴史]
デジタル化時代の考古学・歴史学／考古遺物の数量分類／考古資料のデジタル記録／考古学における年代測定法・同位体分析／元素分析による土器の産地推定／地磁気による考古学的調査／地中レーダーによる遺跡探査／考古学におけるGIS／水中考古学とデジタル技術の利用／自然人類学と歴史研究／災害考古学／全国遺跡報告総覧／古文書に対する文字認識技術／情報考古学／民具資料のデジタルアーカイブ化

[A4 人文地理]
学／計量地理学／地理情報システム／地理空間情報／地理情報科学／歴史GIS／地理人文学／ジオ・ビッグデータ（空間ビッグデータ）／景観分析／記憶地図／空間人文学と文学／デジタル地域学

[A5 文化・芸術]
文化・芸術と文化情報学／絵　画／工芸品／服飾文化／無形文化のデジタルアーカイブ／映像・ゲーム・映像アーカイブ／出版文化・書物学／書物学（近代）／電子出版／音楽・音響／美術品・考古資料の3次元計測

[A6 身体文化・行動計量]
身体文化・行動計量／演　劇／ダンス／演　奏／お笑い／身体性認知／赤ちゃん学／スポーツバイオメカニクス／他者性／共同作業／アフォーダンス／身体性メディア技術／インタラクション

[A7 コンピューター・情報]
コンピューターと文化情報学／ビッグデータ／ソーシャルネットワーク／機械学習／深層学習／音声認識／デジタルミュージアム／情報倫理

B データ分析篇

[B1 データ分析の基礎]
文化情報学の源―数の発見とコンピューター／データの分類法／データの要約―度数分布表・グラフ・統計量／データに基づく推論／推定と検定／多変量解析

[B2 量的分析法]
量的変数と分析手法／量的データからの統計的推測／重回帰分析／新指標作成のための主成分分析／主成分分析の探索的活用／探索的因子分析／因果構造と検証的因子分析／分類と次元縮約のためのクラスター分析・多次元尺度法／テキストマイニングと可視化／潜在トピック分析／イメージマイニングと人工知能／空間統計学／データの欠測値処理

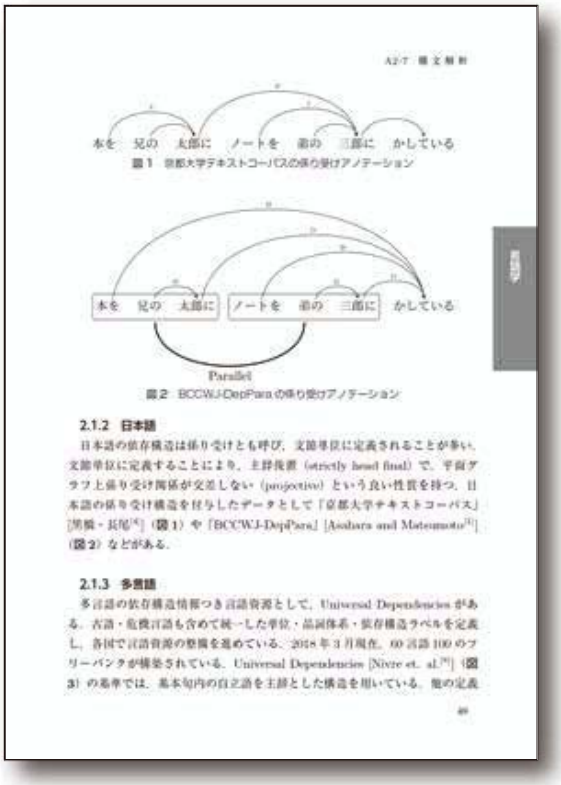
[B3 質的分析法]
質的分析法／離散変数の分布／比率の推定と検定／適合度検定／分割表の解析／対数線形モデル／ロジスティック回帰分析／潜在クラス分析／数量化Ⅰ類・Ⅱ類／数量化Ⅲ類／対応分析／項目反応理論／文化系統学／計量的文明論―林の数量化Ⅲ類の活用

C 分析用ソフト篇

データ解析ソフト／計量テキスト分析のための自由（フリー）ソフトウェアKH Coder／テキスト分析ツールRMeCab／多言語テキスト統計分析ツールMTMineR

◉付表 統計分布表◉索引

本文組見本



資料論がひらく軍記・合戦図の世界

理文融合型資料論と史学・文学の交差

井上泰至［編］

アジア遊学262

学問の対話が切りひらく新たな沃野

文学・歴史に関する資料の研究は、近年進展が著しい理工学の研究方法を導入して、大きな変化の節目を迎えつつある。そこには文学・史学で個別に蓄積してきた資料への知見の垣根を超える新地平が広がっている。電子顕微鏡調査、クラスター分析などの理工学的手法を利用した研究、文学・史学・美学の枠組みを飛び越える新たな資料論など、諸学の交差領域である合戦図・軍記を中心に、最先端の研究状況とこれからの課題を指し示す画期的成果。

［目次］

カラー口絵

序文…井上泰至

Ⅰ◉理文融合型資料論の実践

コディコロジー（文理融合型綜合典籍学）の実践（基調講演）…石塚晴通

［コメント］…佐々木孝浩

『聚楽行幸記』の写本学…竹内洪介

［コメント］…佐々木孝浩・堀　新

豊臣秀吉冊封関連史料に紙質から迫る

――三通の明国兵部箚付原本の検討…須田牧子

［コメント］…佐々木孝浩・堀　新

計量テキスト分析を用いた戦国軍記の分類…山本　洋

［コメント］…湯浅佳子・入口敦志

デジタル技術による合戦図屏風の再生

――「大坂冬の陣図屏風　模本」のデジタル想定復元について…薄田大輔

［コメント］…湯浅佳子・黒田　智・入口敦志

草双紙における上紙摺の意義…佐藤　悟

近世彩色絵画資料における色材の分析…日比谷孟俊・大和あすか

Ⅱ◉史学と文学研究の交差――十七世紀の軍記と関連資料への視座

山内首藤氏の「討死」と『平治物語』『平治物語絵巻』『平治合戦図屏風』…川合　康

天正十六年『聚楽行幸記』の成立について…遠藤珠紀

古活字版『帝鑑図説』再考――『帝鑑図説』は本当に（秀頼版）か…高木浩明

甫庵『信長記』とその周辺――『太平記秘伝理尽鈔』との関わり…湯浅佳子

『慶長治乱記』にみる関ケ原合戦軍記の展開…林　晃弘

Ⅲ◉兵学と有職学――十九世紀の軍記と関連資料の展開

田安宗武の武家故実研究――『軍器摘要抄』をめぐって…高松亮太

旧海軍兵学校蔵鷲見文庫『兵家系図』をめぐって…井上泰至

［編者紹介］

井上泰至（いのうえ・やすし）

防衛大学校教授。専門は日本近世文学。

主な著書に『近世刊行軍書論』（笠間書院、二〇一四年）、『近世日本の歴史叙述と対外意識』（編著、勉誠出版、二〇一六年）、『関ヶ原はいかに語られたか』（編著、勉誠出版、二〇一七年）、『関ヶ原合戦を読む――慶長軍記　翻刻・解説』（勉誠出版、二〇一八年）などがある。

定価三、五二〇円（税込）・本体三、二〇〇円

A5判並製カバー装・口絵一二頁＋本文二三四頁

二〇二一年十月刊行

ISBN978-4-585-32508-6　C1321

書　名	部　数
資料論がひらく軍記・合戦図の世界 理文融合型資料論と史学・文学の交差 【アジア遊学262】 定価3,520円（税込）・本体3,200円 A5判並製カバー装・口絵12頁＋本文224頁 2021年10月刊行 ISBN978-4-585-32508-6 C1321	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。

千代田区神田三崎町2-18-4　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX◉03-5215-9025

日本古典文学・出版史・書誌学

古典は遺産か？

日本文学におけるテクスト遺産の利用と再創造

アジア遊学261

Edoardo GERLINI［編］
河野貴美子

定価二、〇八〇円（税込）
本体一八〇〇円
A5判並製カバー装・二四〇頁
二〇二一年十月刊行
ISBN978-4-585-32507-9 C1395

古典テクストが伝える人々の営為

人びとが過去から現在へと紡ぎ、伝えてきたテクスト――「古典」。
古典を「遺産」という概念から捉えかえし、所有性、作者性、真正性の観点からテクストそのものや、それにまつわる行為や意識を歴史的に考察。
さらに、古典と社会との関係性を照らし出す「テクスト遺産」という概念のポテンシャルを、文学研究と経済学・文化交流史など諸分野の視角を重ね合わせることにより提示。
文字と書物の文化研究を新たなステージへと領導する画期的成果。

［目次］

序言…Edoardo GERLINI
［緒論］なぜ「テクスト遺産」か…Edoardo GERLINI

Ⅰ◉所有性
書物およびテクストの所有性における奥書の役割について…佐々木孝浩
テクスト、パラテクスト、秘儀伝受
――テクストを所有するとはどのような行為なのか？…海野圭介
光格天皇と本居宣長――御所伝受と出版メディアをめぐって…盛田帝子
［コラム］テクストの蒐集、収蔵、継承と「遺産化」のこと
――王羲之の書を例として…河野貴美子

Ⅱ◉作者性
物語における「作者」の発生…兵藤裕己
近世中期における「テクスト遺産」と「作者」…飯倉洋一
［コラム］「作者」はいつ成立するか――日本上代の事例から…高松寿夫

Ⅲ◉真正性
『枕草子』におけるテクストの真正性…陣野英則
古典的公共圏の春――西円の源氏注釈をめぐって…前田雅之
近世日本における『蒙求』の音声化――漢字音と連続性…山本嘉孝
［コラム］仏教経典テクストの真正性と享受者
――古典文学テクストとのつながり…阿部龍一
【特別寄稿】テクスト遺産としての古筆手鑑…Edward KAMENS

Ⅳ◉テクスト遺産の広がり
明石における龍宮イメージの形成
――テクスト遺産としての『源氏物語』と『平家物語』をつなぐ夢…荒木浩
［コラム］テクスト遺産としてのモニュメント
――平時子の例…Roberta STRIPPOLI
［コラム］テクスト遺産「運動」への期待
――文化政策の視点から…佐野真由子
［コラム］日本の文化経済政策
――テクスト遺産を中心にみる現状と課題…林原行雄
蜘蛛の巣としての電子テクスト――その来歴と現在…稲賀繁美
テクスト遺産とは何か…Edoardo GERLINI・河野貴美子
あとがき…河野貴美子

［編者紹介］

Edoardo GERLINI（エドアルド・ジェルリーニ）
ヴェネツィア・カフォスカリ大学アジア・北アフリカ学科研究員（兼・早稲田大学総合人文科学研究センター 角田柳作記念国際日本学研究所招聘研究員）。専門は日本中古文学（特に和歌と漢詩）、比較文学。

河野貴美子（こうの・きみこ）
早稲田大学文学学術院教授。専門は和漢比較文学、和漢古文 献研究。

書　名	部数
古典は遺産か？ 日本文学におけるテクスト遺産の利用と再創造 Edoardo GERLINI・河野貴美子［編］ 定価3,080円（税込）・本体2,800円 A5判並製カバー装・240頁 2021年10月刊行 ISBN978-4-585-32507-9 C1395	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田三崎町2-18-4　TEL.03-5215-9021　WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025

東アジアの歌と文字

真下 厚・遠藤耕太郎・波照間永吉 ……編

【アジア遊学254】

声から文字へ、文字から声への往還

声の歌が文字化されたのはいつからだろうか。
また、文字との出会いによって声の歌はどう変化したのだろうか。
日本古代の『古事記』や『万葉集』、近世琉球の『おもろさうし』、中国少数民族の歌垣など、
東アジアの様々な時代・地域・民族において創作されてきた歌表現の文字資料・[illegible]、
文学・民俗学・文化人類学の分野から検討し、
声と文字との共存・影響関係、豊かな歌文化の諸相を明らかにする。

本体 2,800 円(+税)
A5判並製カバー装・208頁
ISBN978-4-585-32500-0 C1390
2021年2月刊行

［目次］

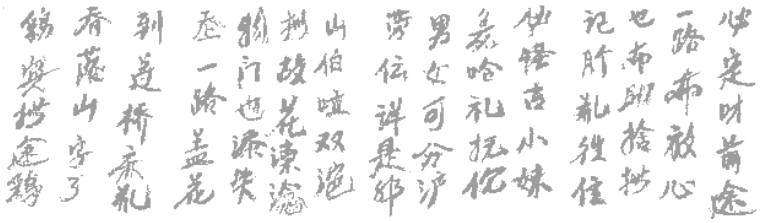
【序言】東アジアにおける歌と文字の出会い◉真下 厚
【総論】中国辺境民族の歌と文字のかかわり◉遠藤耕太郎
【総論】琉球歌謡の文字との出会い
——『おもろさうし』の記載法を中心に◉波照間永吉

Ⅰ 日本古代における歌と文字
歌における声と文字の出会いと共存◉岡部隆志
古代の歌の命
——ある手法の変貌について◉エルマコーワ・リュドミーラ

Ⅱ 琉球王国・沖縄における歌と文字
琉球王国・沖縄における歌と文字——おもろさうし◉照屋 理
琉歌と南琉球の抒情歌の文字記録◉波照間永吉
南島歌謡の記録と伝承の諸相——竹富島の巻唄をめぐって◉狩俣恵一

Ⅲ 中国少数民族における歌と文字
壮族の掛け合いうたにおける声と文字◉手塚恵子
ペー祭文における声と文字の往還◉遠藤耕太郎
中国湘西苗族の歌と文字◉真下 厚

Ⅳ 資料紹介
宮古の古謡と神歌◉本永 清
ペー族の祭文◉遠藤耕太郎



【編者紹介】

真下 厚（ましも・あつし）
元立命館大学教授。専門は日本古代文学・民俗学。
主な著書に『歌を掛け合う人々 東アジアの歌文化』（共著、三弥井書店、二〇一七年）などがある。

遠藤耕太郎（えんどう・こうたろう）
共立女子大学文芸学部教授。
専門は日本古代文学と中国少数民族文化。
主な著書に『万葉集の起源—東アジアに息づく抒情の系譜』（中公新書、二〇二〇年）などがある。

波照間永吉（はてるま・えいきち）
名桜大学大学院国際地域文化研究科（後期博士課程）。
専門は歌謡呪。
主な編著書に『定本 おもろさうし』（外間守善と共編著、角川書店、二〇〇二年）、などがある。

書 名	部数
東アジアの歌と音楽 【アジア遊学No.243】 真下 厚・遠藤耕太郎・波照間永吉［編］ 本体2,800円(+税) A5判並製カバー装・208頁 2021年2月刊行 ISBN978-4-585-32500-0 C1390	部

ご送付先ご住所（通信欄）

勉誠出版
※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
千代田区神田神保町3-10-2 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/
FAX◉03-5215-9025